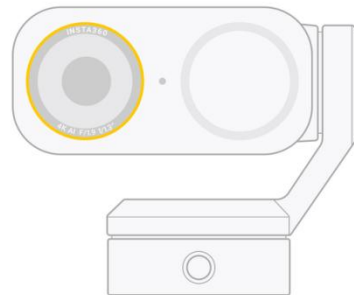


**Insta360 Link 2C Pro**

**Insta360 Link 2 Pro**

# ユーザーマニュアル



# 目次

このマニュアルについて .....	1
概要 .....	1
各部名称 .....	1
同梱物 .....	2
インジケータランプ .....	3
初めての使用 .....	5
デバイスの設置 .....	5
パソコンへの接続 .....	6
基本的な使用方法（クライアント不要） .....	7
INSTA360 LINK CONTROLLER .....	11
ダウンロードとインストール .....	11
ソフトウェアインターフェースの概要 .....	12
オーディオモードの選択 .....	13
Insta360 InSight と AI 録画・要約 .....	14
その他の便利な機能 .....	16
高度な使用方法 .....	17
AI トラッキングとオートフレーミング .....	17
ホワイトボードモード .....	22
デスクビューモード .....	23
ライブ配信 .....	25
準備：インストールと基本設定 .....	25
2 つのカメラ信号ソース .....	27
配信ソフトでのカメラ構成 .....	28

OBS Studio での使用方法 .....	29
高度な活用 — クロマキー合成ライブ配信 .....	32
エコシステム連携 .....	35
Elgato Stream Deck を使用した Link 2 シリーズカメラの制御 .....	35
高度な活用 — マルチカメラ・ライブ配信 .....	42
Wave との統合 .....	46
メンテナンスと管理 .....	47
シリアルナンバー (SN) の確認 .....	47
ログのアップロード .....	49
ファームウェアの更新 .....	51
保管とメンテナンス .....	51
仕様 .....	52

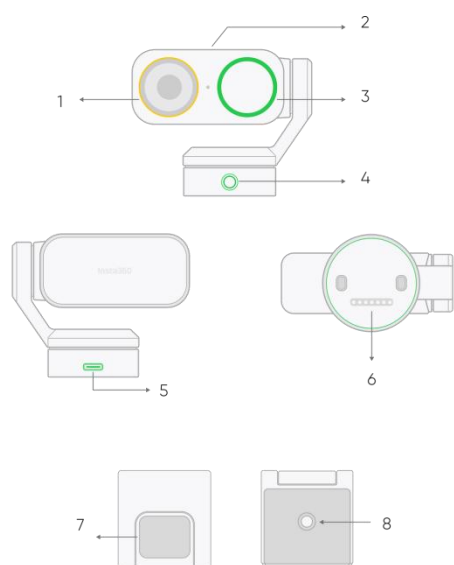
## このマニュアルについて

1. 本マニュアルは、Insta360 Link 2 Pro および Link 2C Pro カメラの両方に適用されます。機能や操作が同一の場合は、まとめて「本製品」または「カメラ」と表記します。相違点がある場合は、別途記載します。
2. 本マニュアル内の画像は参照用です。実際のインターフェースとは多少異なる場合があります。

## 概要

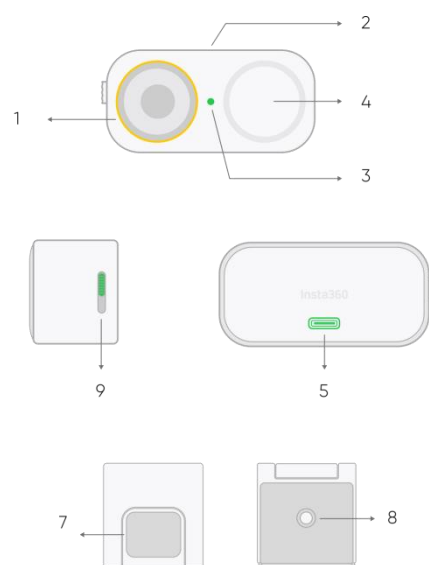
### 各部名称

#### Link 2 Pro



1. レンズ
2. マイク
3. インジケータランプ
4. タッチキー
5. USB-C ポート

#### Link 2C Pro



6. 磁気ベース (Link 2 Pro のみ)
7. 磁気吸着面
8. 1/4 インチねじ穴
9. プライバシースイッチ (Link 2C Pro のみ)

## 同梱物

	Insta360 Link 2C Pro / Insta360 Link 2 Pro
	マグネットマウント
	USB-C ケーブル
	USB-C - USB-A 変換アダプター
	ホワイトボード認識マーカー

## インジケータランプ

### 1. システムおよび基本ステータス

ステータス	インジケータランプ
電源オン	緑色点灯
起動時セルフチェック	緑色にゆっくり点滅
スタンバイ（アイドル）	緑色点灯
スリープ	消灯
U ディスクモード	青色点灯
ファームウェア更新中	青色にゆっくり点滅
ファームウェア更新成功	緑色点灯
工場出荷時リセット中	青色に点滅
工場出荷時リセット完了	緑色点灯

### 2. 主な動作モード

ステータス	インジケータランプ
1 人トラッキング中	シアン色点灯
複数人トラッキング中	シアン色点灯
ホワイトボードモード - スキャン中	緑色にゆっくり点滅
ホワイトボードモード - アクティブ	緑色点灯
スマートホワイトボード - スキャン中	緑色にゆっくり点滅
スマートホワイトボード - アクティブ	緑色点灯
デスクビューモード - アクティブ	緑色点灯
オートフレーミング - アクティブ (Link 2C Pro)	シアン色点灯

### 3. プロンプトおよび異常

ステータス	インジケータランプ
ジェスチャー操作成功	緑色に高速点滅 (3 回)
ハードウェア障害	赤色点灯
更新失敗	赤色に高速点滅 (3 回して停止)
動作異常	赤色に高速点滅 (3 回して停止)
1 人トラッキング - 中断	赤色に高速点滅 (3 回して停止)
ホワイトボードモード - スキャン未完了	赤色に高速点滅 (3 回して停止)
ジェスチャー認識済み - 有効化失敗	赤色に高速点滅 (3 回して停止)

### 4. プライバシーモード

ステータス	インジケータランプ
プライバシーモード (Link 2 Pro のみ。デフォルトでカメラとマイクが無効になります)	黄色点灯

# 初めての使用

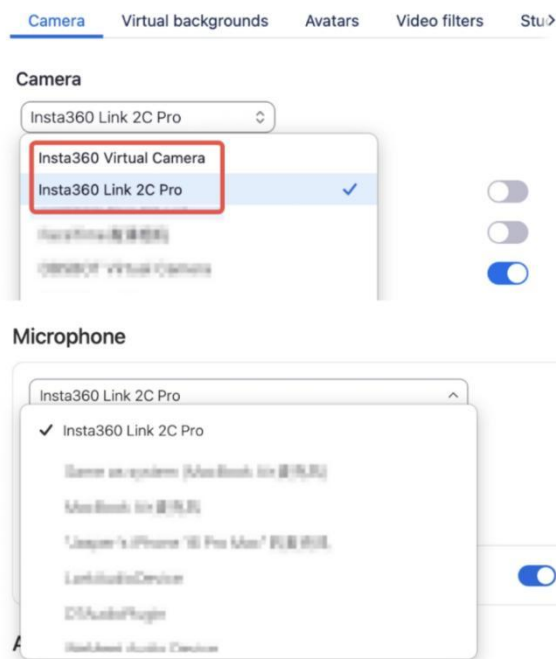
## デバイスの設置

ステータス	図
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 図のように、磁気マウントをスクリーンの端に固定します。</li> <li>2. カメラを設置し、上部のステータス LED がスクリーンの中央に来るようにします。</li> <li>3. カメラが概ね顔の高さになるように、マウントの角度を調整します。</li> <li>4. 付属のケーブルを使用してカメラをパソコンに接続します。接続に成功すると、インジケータランプが緑色に点灯します。</li> </ol>	
<p>縦向き撮影の場合は三脚が必要です。カメラは、磁気マウント底部の 1/4 インチねじ穴を介して三脚に取り付けることができます。</p>	



## パソコンへの接続

1. 付属のケーブルを使用してデバイスをパソコンに接続します。ウェブカメラはセルフチェックを実行し、その後インジケータランプが緑色に点灯して、使用準備が完了したことを示します。
2. 接続後、サードパーティ製ビデオ会議ソフトウェアで、本製品を映像および音声ソースとして選択できます。カメラ/マイクの設定リストには 2 つのオプションが表示されます。
  - Insta360 Link 2C/2 Pro（物理カメラストリーム）：基本的な映像と音声を提供し、カメラのボタンやジェスチャーによる AI トラッキング制御をサポートします。
  - Insta360 Virtual Camera（仮想カメラストリーム）：このオプションを有効にすると、Insta360 Link Controller が提供する、メイクアップ、ビューティー、バーチャル背景、スマートホワイトボードなどの高度な機能すべてを使用できます。



3. 本製品の性能を最大限に体験するには、公式サイトから Insta360 Link Controller ソフトウェア（以下「クライアント」）をダウンロードすることをお勧めします。これにより、スマートホワイトボード、背景置換、背景ぼかし、ボケ、クロマキー合成、メイクアップ、ビューティーなどの機能が利用可能になります。また、Insta360 InSight の活用や、AI トラッキング設定のカス

タマイズ（トラッキング停止エリア/トラッキングエリアの設定、トラッキング速度の調整など）も可能です。

**注意：**

- 電力供給による誤動作を防ぐため、デバイスはパソコンに直接接続するか、独立した電源を持つドックに接続してください。（電力要件：5V/1A）
- 本製品は Windows および macOS コンピューターと互換性があります。互換性の問題を避けるため、必ず付属のケーブルを使用してパソコンに接続してください。

## 基本的な使用方法（クライアント不要）

### タッチキー

- **1 回タップ：**AI トラッキングのオン/オフを切り替えます。
- **2 回タップ：**Link 2 Pro：ジンバルベースのタッチキーを 2 回タップして、ジンバルを中央に戻します。Link 2C Pro：タッチキーを 2 回タップして、1 倍と 1.5 倍ズームを切り替えます。
- **3 回タップ：**3 回タップした後、5 秒間長押しすると U-Disk モードに入り、ファームウェアの更新やその他の操作が可能になります。ケーブルを取り外すと U-Disk モードは終了します（Windows の場合は、先に「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってください）。

## ジェスチャー操作

ジェスチャー操作を使用すると、ズーム、ホワイトボードモード、トラッキングなどの操作を実行でき、より効率的でスムーズな体験が可能になります。以下は、本ソフトウェアなしで使用できるジェスチャーです。ジェスチャー操作は、Link 2 Pro ではデフォルトで「有効」、Link 2C Pro では「無効」に設定されています。

### ジェスチャーによるズーム

1. 顔がカメラのフレーム内に収まっていることを確認します。
2. レンズに向かって「L」字のジェスチャーを見せます。インジケータランプが緑色に点滅し、検出に成功したことを示します。（ジェスチャーで顔を隠さないようにしてください）。
3. ジェスチャーを見せたまま、手を上に動かすとズームイン、下に動かすとズームアウトします。（上下に動かすだけで反応します。動かし続ける必要はありません）。

### ヒント：

- ・ズーム操作中は、「L」字ジェスチャーをフレーム内に維持してください。
- ・フレーム内に複数人がいる場合、カメラは一度に 1 人のみトラッキングします。「L」字ジェスチャーについては、最初に検出されたジェスチャーにのみ反応します。
- ・複数人が異なる方向に動いても認識ルールには影響せず、カメラは最初に検出されたジェスチャーに基づいて反応します。



## ジェスチャーによるホワイトボードモードの制御

1. 使用しているホワイトボードが以下の条件を満たす場合、認識マーカーを使用したり Link Controller を起動したりすることなく、「V」字ジェスチャーで直接ホワイトボードモードを起動できます。
  - ・ ホワイトボードの条件：
    - 白い背景で、はっきりとした境界線があること。最大認識距離は、デバイス正面から 5m です。斜めから使用する場合、角度は 30 度以内、認識距離は 3m 以内としてください。
2. カメラのフレーム内で「V」字ジェスチャー（ピースサイン）を見せます。インジケータランプが緑色に点滅し、検出に成功したことを示します。
3. デバイスはフレーム内のホワイトボードを検出し、強調表示します。
4. 白以外の表面（黒板など）や不規則な形状の表面を使用する場合は、ホワイトボード認識マーカーを使用するか、Link Controller で「スマートホワイトボードモード」を有効にして認識させてください。



## ジェスチャーによる AI トラッキングまたはオートフレーミングの制御

顔をフレームに入れた状態で、カメラに手のひらを見せ、しばらく保持します。緑色のライトが点滅すれば認識成功で、AI トラッキングが有効になります。この状態になると、Link 2 Pro は被写体の動きに合わせてジンバルの角度を調整し、Link 2C Pro はデジタルズームとクロップを使用して被写体を可能な限りフレームの中央に保ちます。



## プライバシーモード

### Link 2 Pro

手動でカメラを下に 90°傾けると、プライバシーモードに入ります。この状態ではカメラとマイクの機能が無効になります。手動でカメラを上に戻すと、プライバシーモードが終了します。

注意：プライバシーモードに入ると、映像と音声の両方が無効になります。デバイスがいずれのプラットフォームでも使用されていない場合、カメラは 10 秒後に自動的に下を向き、スリープモードに入ります。

カメラがプライバシーモードの場合、以下のいずれかの方法でウェイクアップできます。

- **ソフトウェアウェイクアップ**：カメラを使用するソフトウェア（ビデオ会議アプリなど）を起動します。ソフトウェアが映像または音声ストリームの受信を開始すると、カメラは自動的に復帰します。
- **手動ウェイクアップ**：手動でカメラジンバルを通常の使用角度まで回転させ、プライバシーモードを終了します。
- **再接続**：カメラのケーブルを抜き差しして、接続を再確立します。

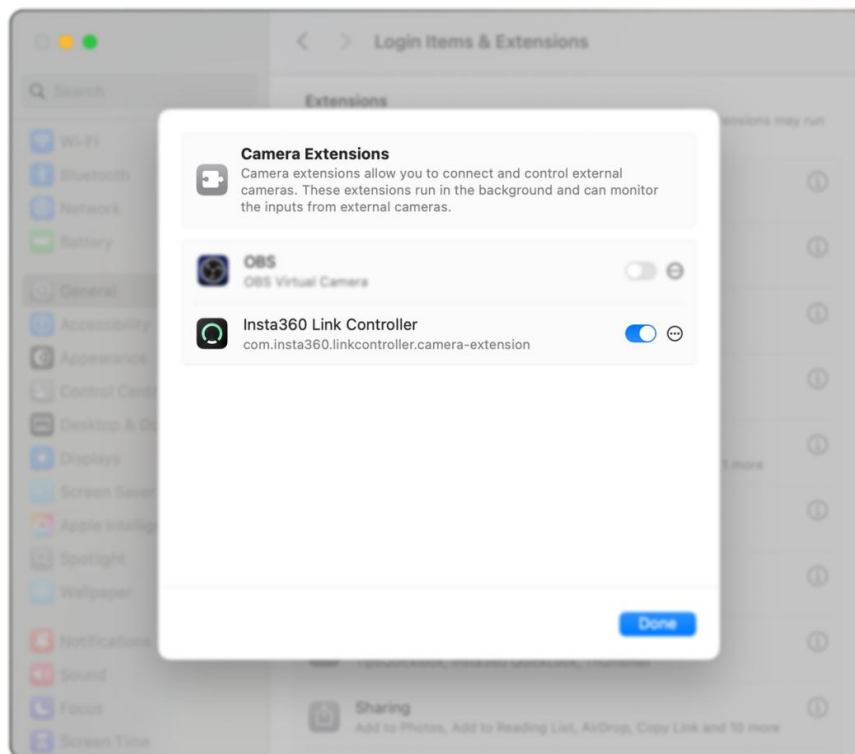
### Link 2C Pro

カメラのプライバシースイッチを切り替えて、物理的にレンズを遮断し、プライバシーを保護します。マイクをオフにするには、Insta360 Link Controller またはサードパーティ製ソフトウェアで音声入力を手動で無効にしてください。

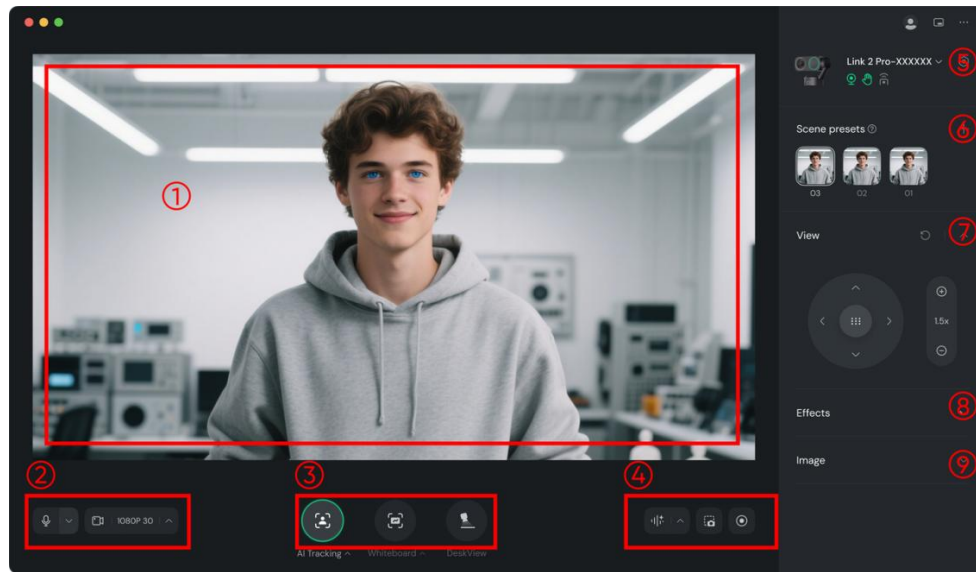
# Insta360 Link Controller

## ダウンロードとインストール

- **ダウンロード**：Insta360 公式サイトダウンロードセンターにアクセスしてください。
- **インストール**：「Insta360 Link Controller」ソフトウェアをダウンロード後、画面の指示に従ってインストールを完了してください。
- **仮想カメラ設定（重要）**：スマートホワイトボード、バーチャル背景、ビューティーなどの高度な機能を使用するには、ライブ配信や会議ソフトウェアの映像ソースとして「**Insta360 Virtual Camera**」を選択する必要があります。設定方法は以下の通りです。
  - **Windows**：Link Controller 内の仮想カメラアイコンをクリックし、指示に従ってインストールを完了します。
  - **macOS**：初回使用時は、システムプロンプトに従って「システム設定」>「プライバシーとセキュリティ」に進み、関連するカメラ拡張機能の権限を許可してから、本ソフトウェアを再起動してください。macOS 15.0.1以降の場合は、「システム設定」>「一般」>「ログイン項目と拡張機能」>「カメラ拡張機能」に進み、本ソフトウェアの権限を有効にしてから再起動してください。




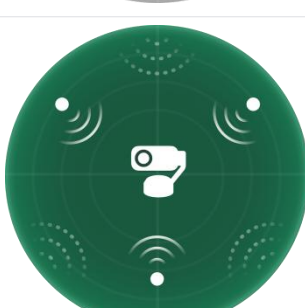
## ソフトウェアインターフェースの概要



1. **プレビューエリア**：撮影映像のリアルタイムプレビューを表示します。
2. **映像・音声設定エリア**：映像/音声信号の接続・切断、および設定（マイクソースの選択、集音モード、アスペクト比、解像度、フレームレート、垂直・水平反転など）を調整します。
3. **スマート機能**：「AI トラッキング」/「オートフレーミング」、「ホワイトボード」、「デスクビュー」のオン/オフ切り替え、および詳細設定を行います。詳細は後述の操作方法を参照してください。
4. **録画エリア**：通常の動画録画の開始/停止、AI 録画（音声をテキスト要約に書き起こし。アカウントログインが必要）の使用、スクリーンショットの撮影を行います。
5. **ステータスバー**：ジェスチャー設定の表示・調整、仮想カメラのステータス表示、その他の設定へアクセスします。
6. **シーンプリセット**：現在のパラメーター（AI モード、ビュー、エフェクト、画質設定）をプリセットとして保存し、素早く切り替えます。
7. **ビュー**：カメラの方向（Link 2 Pro のみ）とズームを調整します。
8. **エフェクト**：リアルタイムフィルターの選択、バーチャル背景の使用またはアップロード（被写体に焦点を合わせる「ボケ」、プライバシーを保護する「背景ぼかし/置換」を選択）、クロマキー合成（詳細は「高度な応用」を参照）、およびリアルタイムのビューティー&メイクアップエフェクトを適用します。
9. **画質**：露出、色温度、彩度などを手動で調整します。これらのパラメーターをカラーテンプレートとして保存し、次回ワンクリックで適用することも可能です。

## オーディオモードの選択

使用状況に合わせて、クライアント下部のマイクアイコンをクリックし、集音モードの選択やその他のオーディオ設定を行います。

各種モード	概要	図
標準版	日常の使用に適しています。デバイス周囲の環境音を拾いつつ、人の声を強調して際立たせ、環境ノイズをわずかに低減します。	
広角	1 人または複数人での会議、ライブ配信、その他のシナリオに適しています。デバイス前方の人声をすべて拾って強調しつつ、デバイス後方からの声や環境ノイズを自動的に抑制します。	
フォーカスモード	ワークステーションやカフェなどの騒がしい環境に適しています。集音範囲をより集中させ、デバイス前方約 1 メートル以内の人の声を優先的に強調し、エリア外の声や環境ノイズを自動的に抑制します。	
オリジナル	コンテンツ制作やライブ配信など、高い音質が求められるシナリオに適しています。ノイズリダクションをオフにしてデバイス周囲の環境音を拾い、原音を可能な限り維持します。	



## Insta360 InSight と AI 録画・要約

InSight は、当社のプレミアム付加価値 AI、インテリジェント会議アシスタントです。アカウントにログイン後、クライアントで会議を直接録画すると、完全なテキスト文字起こしと AI 生成の要約を自動的に取得でき、あなたとチームが会議内容を効率的に記録・保持するのに役立ちます。

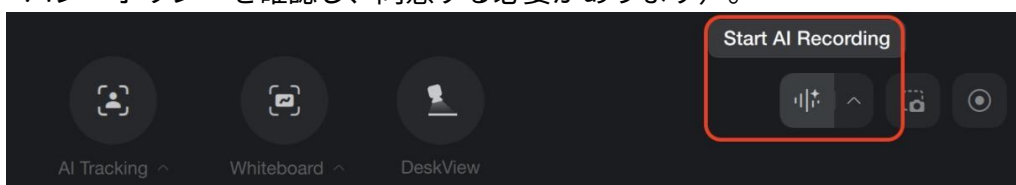
### 操作プロセス

#### 1. 開始前の準備

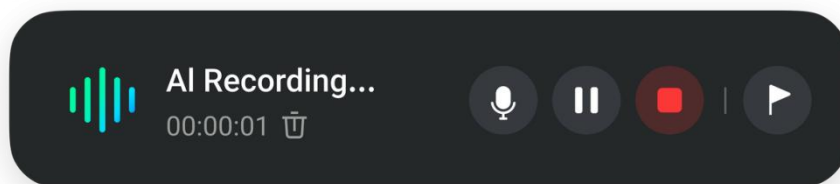
- ・ アカウントログイン：Link Controller クライアントで Insta360 公式サイトのアカウントにログインしていることを確認してください。ログインしないと、AI 録画・要約機能は利用できません。
- ・ オーディオ確認：下部のマイクアイコンをクリックし、正しい音声入力デバイスが選択されているか確認してください。
- ・ 録画設定：クライアントの「AI 録画」ボタンの横にある「^」をクリックして設定にアクセスします。
  - 要約：有効にすると、インターネット接続時に録画を終了した後、AI がデフォルトのテンプレートを使用して要約を生成します。
  - 録画言語：録画中に使用する言語を設定します。AI はこの言語に基づいて文字起こしと要約を行い、精度を向上させます。
  - ローカルキャッシュ場所: 未アップロードの録画を一時的に保存するために使用されます。ファイルはアップロード後に自動的に削除されます。
  - 会議録画リマインダー：会議の開始が検出され、音声入力デバイスとして Link 2 Pro または Link 2C Pro が選択されている場合、システムは自動的に録画開始を促します。

#### 2. AI 録画の開始

- ・ 録画：クライアントのメインインターフェースにある「AI 録画を開始」ボタンをクリックして、会議音声のキャプチャを開始します。（初回使用前にプライバシーポリシーを確認し、同意する必要があります）。



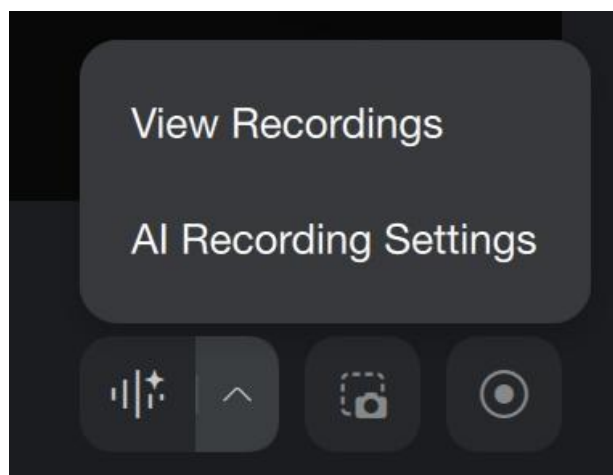
- コントロール：録画中はいつでも一時停止や再開が可能で、マイクアイコンをクリックして一時的にミュートすることもできます。また、録画中の重要な瞬間を素早く特定してマークすることもできます。



- 停止：会議終了後、赤色の「録画停止」ボタンをクリックして録画を終了します。システムは自動的に音声をアップロードします（ウィンドウを閉じていてもファイルのアップロードには影響しません）。その後、AI テキスト要約を手動で生成するか、事前に自動生成されるように設定するかを選択できます。

### 3. 録画の表示と使用

- クライアントでの表示：録画終了後、クライアントの「AI 録画」ボタンの横にある「^」をクリックし、「録画を表示」を選択して InSight ウェブページに入り、ファイルを確認します。



- InSight ウェブサイトでの詳細分析：InSight ウェブサイトにアクセスして、完全な対話型文字起こし、AI 生成の会議要約、抽出された To-Do アイテム、その他の詳細なインサイトを確認します。重要なコンテンツの特定やエクスポートもサポートしています。[InSight ウェブサイトの機能詳細についてはこちら](#)をご覧ください。

### ヒント：

- これはオプション機能であり、デバイスの主要なハードウェア性能や日常的な使用には影響しません。
- Link 2 Pro または Link 2C Pro ユーザーとして、機能を試すための 300 分間の無料文字起こし時間が提供されます。より長い録画時間、より多くの文字起こし時間、または高度な機能へのアクセスが必要な場合は、有料サブスクリプションを選択できます。
- [InSight の詳細についてはこちら](#)をご覧ください。

## その他の便利な機能

- **Insta360 InSight（会議アシスタント）**：アカウントにログイン後、ソフトウェアは録音された音声を自動的にテキスト文字起こし、会議要約、AI インサイトに変換し、会議効率を向上させます。履歴はクライアント内で確認できます。
- **リモートコントロール**：スマートフォンとカメラが同じ Wi-Fi ネットワーク上にあることを確認してください。クライアント内の QR コードをスキャンすると、スマートフォンのブラウザを通じて画角の制御、モード切り替えなどをリモートで行えます。
- **ツールバーモード**：クリックするとクライアントがフローティングツールバーに最小化され、サードパーティ製ソフトウェア（ビデオ会議アプリなど）を使用しながら主要機能に素早くアクセスできます。
- **仮想カメラの使用**：すべてのソフトウェア拡張機能（ビューティー&メイクアップ、背景ぼかし、背景置換、ボケ、クロマキー合成など）を使用できます。配信ソフト（OBS、StreamLabs など）のカメラデバイスリストから「Insta360 Virtual Camera」を選択してください。詳細は後述の操作方法を参照してください。

# 高度な使用方法

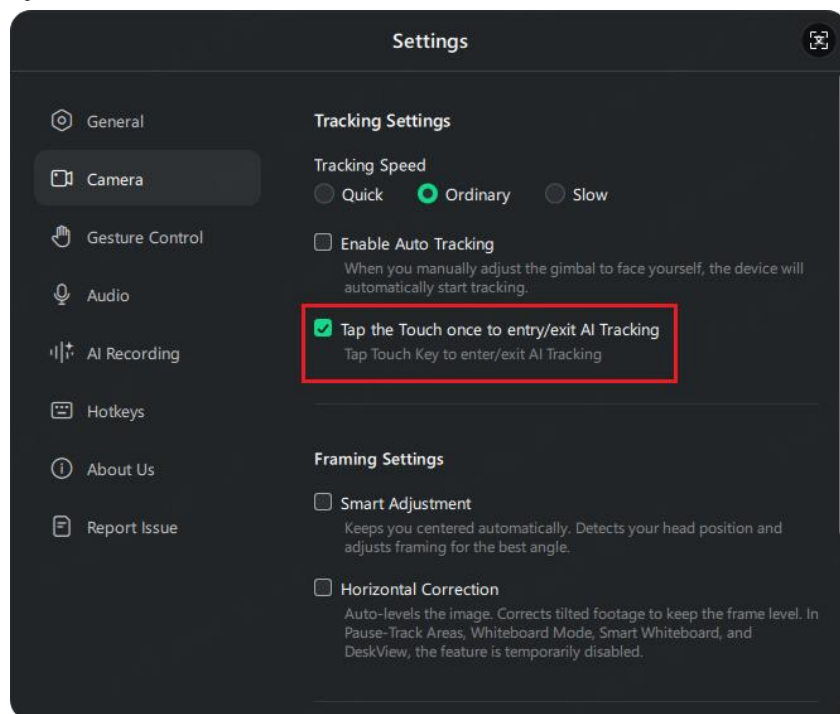
## AI トラッキングとオートフレーミング

AI トラッキングとオートフレーミングは、フレーム内の被写体を自動的に識別してロックします。被写体の移動に合わせて、ジンバルの回転とスマートズームを使用して追跡し続け、常に画面中央に捉えます。ビデオ会議、オンライン授業、ライブ配信に最適な視点を提供します。クライアント内でトラッキングエリア、トラッキング停止エリア、トラッキング速度、構図をカスタマイズできます。

- **Link 2 Pro**：クライアント内の方向軸を長押ししてジンバルの動きを制御し、ボタンをクリックしてデジタルズームを行います。
- **Link 2C Pro**：ボタンを使用してデジタルズームを行います。ズームイン後、フレームをドラッグして構図を調整できます。

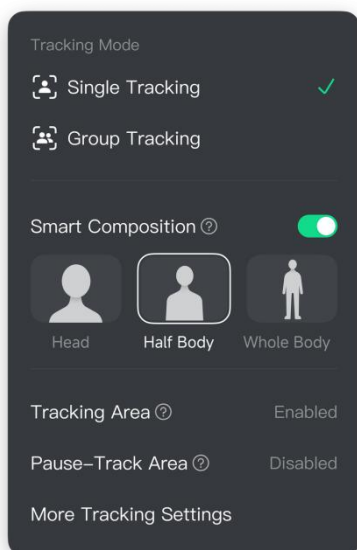
## 操作ガイド

- **ジェスチャー認識**：「初めての使用」の章で説明したジェスチャーを使用して、この機能を素早く起動できます。
- **タッチキー（Link 2 Pro のみ）**：カメラのタッチボタンを 1 回タップして、AI トラッキングを素早く有効/無効にします。「設定」>「カメラ」で「1 回タップして AI トラッキングを起動」機能がオンになっていることを確認してください。

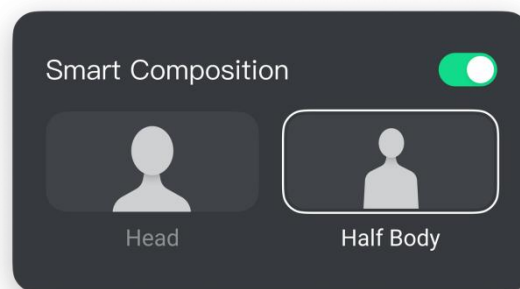


- クライアントコントロール
  - クライアントを開き、下部のコントロールバーにある「AI トラッキング」または「オートフレーミング」アイコンをクリックして、機能のオン/オフを切り替えます。
  - ボタンの右側にある「^」アイコンをクリックして、詳細設定にアクセスします。**Link 2C Pro** では頭部または上半身のフレーミング調整が可能で、**Link 2 Pro** では 1 人または複数人のトラッキング、スマート構図、トラッキングエリア、トラッキング停止エリアなどのオプションを提供します。

## Link 2 Pro



## Link 2C Pro



### ヒント：

- デフォルトでは、AI トラッキングは 1 人トラッキングとジェスチャー操作を使用します。
- 認識失敗を防ぐため、ジェスチャーを使用する際は顔を隠さないでください。

## Insta360 Link Controller による高度な操作

1. クライアントを開きます。
2. クリックして「AI トラッキング」機能を有効にします。カメラが人物を認識すると、インジケータランプがシアン色に変わり、トラッキングが開始されます。
3. 有効にすると、カメラはメインの被写体（1 人）を自動的に識別してトラッキングし、フレームの中央に保ちます。

## 複数人トラッキング

- ・ フレーム内の全員が収まるように、構図をインテリジェントに調整します。
- ・ フレーム内に 2 人以上いる場合、特定の人物をトラッキングしたいときは、**1 人トラッキングモード**を選択し、プレビューエリアで対象の顔に表示される検出ボックスを手動でクリックします。カメラは選択された人物のトラッキングに切り替わります。

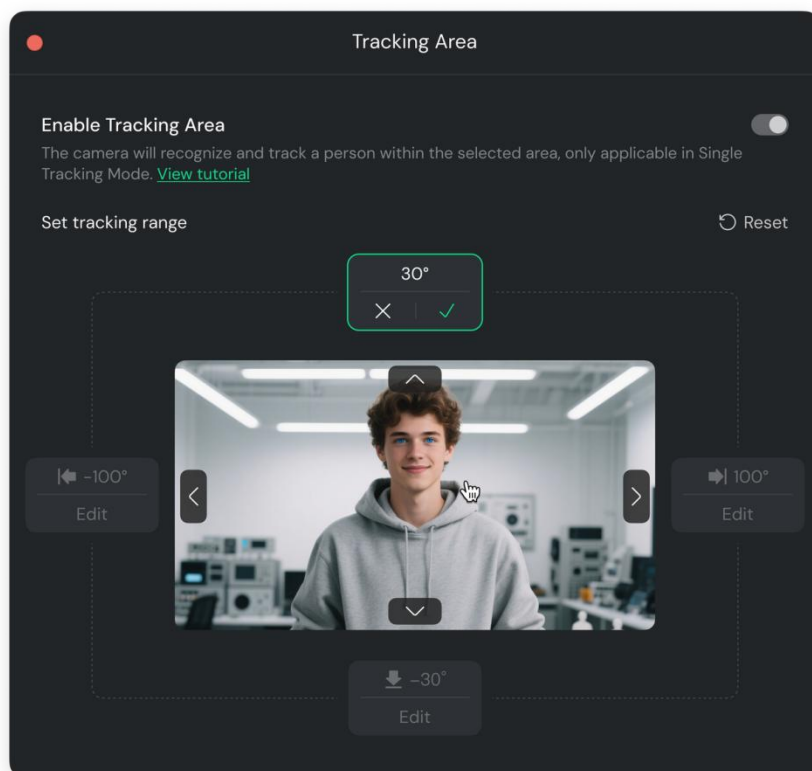
## スマート構図

有効にすると、頭部、上半身、全身から選択できます。この機能はトラッキングが有効な場合のみ適用されます。

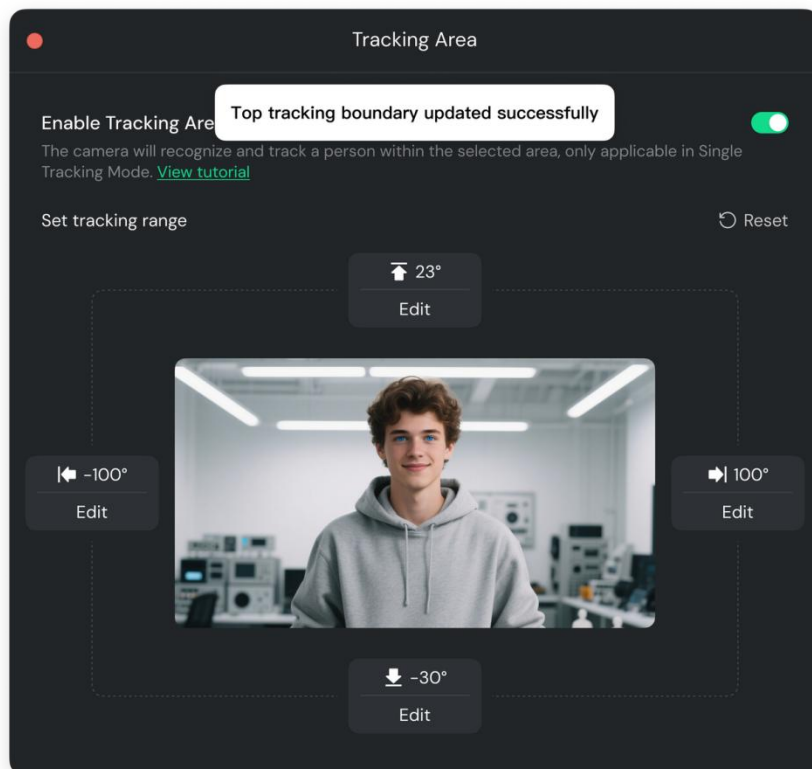
## トラッキングエリア

有効にすると、カメラは指定されたエリア内でのみトラッキングを行い、プライバシー保護に役立ちます。

- ・ **条件：**1 人トラッキングモードでのみ適用されます。
- ・ **設定方法：**
  - AI トラッキング設定で、クリックして「**トラッキングエリア**」を有効にします。
  - 角度調整ページに入ります。方向矢印をクリックするか、フレームをドラッグして角度を調整し、境界を設定できます。



一度に編集できる境界角度は 1 つのみです。「✓」をクリックして保存した後、次の境界角度の値を調整できます。必要に応じて「上、下、左、右」方向の境界角度を調整できます。境界角度の調整が完了すると、トラッキング範囲はこのエリアに制限されます。



## ポーズトラックエリア

この機能では、フレーム内に特定のエリアを設定できます。トラッキング対象がこれらのエリアに入ると、カメラはトラッキングを停止し、レンズを固定します。製品デモやホワイトボード前でのプレゼンテーションなど、固定フレームが必要なシナリオに適しています。

- **条件：**1 人トラッキングモードでのみ適用されます。
- **設定方法：**
  - AI トラッキング設定で「トラッキング停止エリア」オプションを見つけます。
  - プレビュー画面上でマウスを直接ドラッグして、長方形エリアを描画できます。最大 6 つのトラッキング停止エリアを設定できます。
  - **(オプション)** 部屋のパノラマビューを描画またはインポートして、物理空間における各トラッキング停止エリアの位置を視覚的にプレビューできます。

## その他の設定

トラッキング速度の調整、自動トラッキング（カメラがあなたを向いた時に自動的にトラッキングを開始）の有効/無効、フレーミング設定（スマート調整、水平補正）、互換性設定（縦向き解像度、低解像度を有効化）などが可能です。

### ヒント：

- AI トラッキングは人物の顔のみトラッキング可能です。手、物体、動物のトラッキングには対応していません。
- 60 秒間連続して人の顔が検出されない場合、AI トラッキングは自動的にオフになります。
- 「トラッキングエリア」と「トラッキング停止エリア」の両方が有効な場合、すべてのトラッキング停止エリアは、正常に機能するために、完全にトラッキングエリアの境界内に収まっている必要があります。
- トラッキング停止エリアの一部または全部がトラッキングエリアの境界外にある場合、そのエリアは保持されますが有効化できず、カメラはそのエリアに対するトラッキング停止コマンドを無視します。



## ホワイトボードモード

### ホワイトボードモード（通常）

ホワイトボードモードには、効率的なプレゼンテーションを行うための 2 つの便利な方法があります。認識ステッカーなしの標準的な白い長方形ホワイトボード用の「ジェスチャー認識」と、認識ステッカー付きのホワイトボードや任意の平面用の、クライアント内の「ホワイトボードモード」ボタンです。

#### 操作ガイド

- **ジェスチャー認識：**「初めての使用」の章で説明したジェスチャーを使用して、ホワイトボードモードを素早く起動します。この方法は、ホワイトボードの位置が固定されている場合の一時的で素早い説明に特に適しています。
- **クライアント制御：**クライアントを開き、インターフェース下部の「ホワイトボードモード」をクリックして、機能のオン/オフを切り替えます。

### スマートホワイトボード

スマートホワイトボードモードでは、認識ステッカーは不要です。クライアントがホワイトボードエリアを自動認識するか、手動で設定でき、自動的に補正されて全画面表示されます。このモードは、オフサイトでの作業や複数のホワイトボードを使用するなど、複雑なシナリオに最適です。

**注意：**スマートホワイトボードや背景認識機能を使用する前に、**Insta360 Virtual Camera** を有効にしてください。サードパーティ製ソフトウェアでこのモードを使用する場合は、映像ストリームとして **Insta360 Virtual Camera** を選択する必要があります。

#### 操作ガイド：

1. クライアントを開きます。
2. インターフェース下部の「スマートホワイトボード」をクリックして、機能のオン/オフを切り替えます。

ホワイトボードモードは、コーナーマーカーのない通常の標準ホワイトボードの認識をサポートしています。認識ステッカーと組み合わせることで、黒板、グリーンボード、壁、モニターなど、特定のホワイトボードエリアをカスタマイズできま

す。スマートホワイトボードモードは、ステッカーなしの通常のホワイトボードと、ステッカー付きの任意のホワイトボードまたはエリアの両方をサポートしています。

## よくある質問

### ホワイトボードモード中に縦向きモードに切り替えられますか？

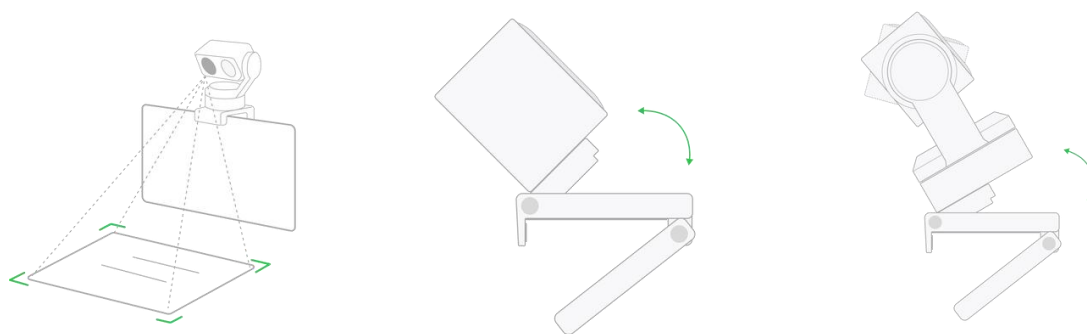
はい、可能です。まずデバイスを縦向きモードに設定してから、ホワイトボードモードを有効にしてください。

### ホワイトボード認識ステッカーは再利用可能ですか？ 再利用時に粘着力を高めるために接着剤が必要ですか？

- ホワイトボード認識ステッカーは約 100 回再利用可能です。
- 再利用時は表面に直接貼り付けてください。必要に応じて両面テープを使用し固定することもできます。
- ステッカーを紛失したり、粘着力が著しく低下した場合は、Insta360 公式ストアで交換用ステッカーを購入できます。

## デスクビューモード

1. クライアントで**デスクビューモード**をクリックすると、ジンバルが自動的にカメラを下向きに傾けます。
2. 理想的な真上からのアングルになるように、磁気マウントを手動で調整します。



\*最適なアングルを得るために、マウントをさらに手動で調整できます。

Link 2 Pro は、ジンバルの角度調整によってデスクビューモードを実現します。

Link 2C Pro は、マウントの手動調整と Link Controller による角度の微調整によってデスクビューモードを実現します。

### ヒント：

- デスクビューモードでは、バーチャル背景機能（背景ぼかし、ボケ、背景置換、クロマキー合成を含む）は一時的に無効になります。
- デバイスがデスクビューモードに入らない場合は、デバイスを前方に傾けてから再試行してください。

# ライブ配信

## 準備：インストールと基本設定

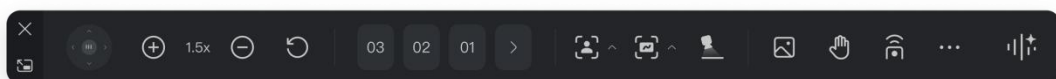
### クライアントソフトウェアのインストール

クライアントソフトウェアのインストールとセットアップが完了していることを確認してください。

### 基本的なクライアント設定

インストール後、より良いライブ配信体験のために以下の設定を行ってください。

1. **カメラの接続**：USB ケーブルでカメラをパソコンに接続します。クライアントを開くと、自動的にデバイスが認識されます。
2. **プレビューをオフにする（オプション）**：ソフトウェア左下のカメラアイコンをクリックしてライブプレビューを無効にし、システムリソースを節約します。
3. **ツールバーモードを有効にする**：ソフトウェア右上のアイコンをクリックして「ツールバーモード」を有効にします。このモードはコンパクトなフローティングコントロールバーを提供し、ウィンドウを切り替えることなくライブ配信中にカメラ設定を素早く調整できます。



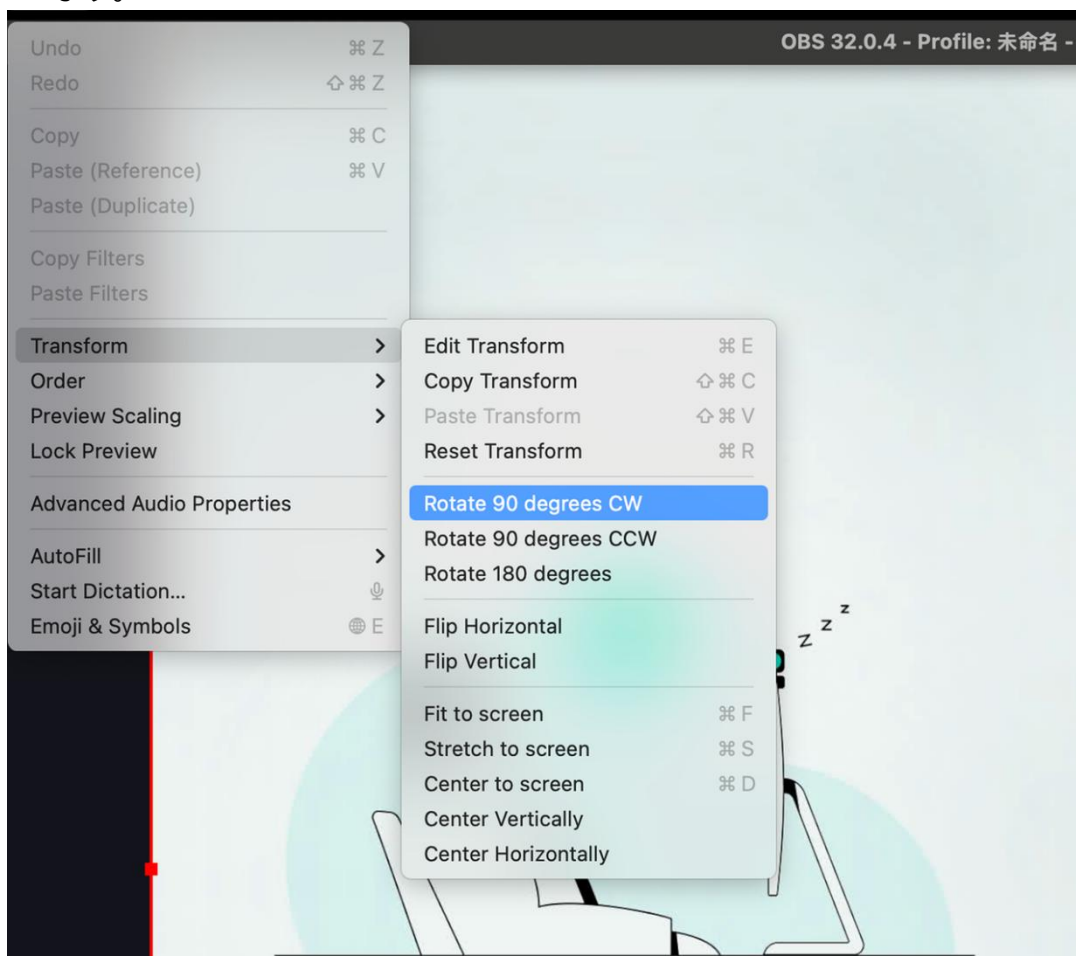
### 縦型ライブ配信の設定

縦型ライブ配信を行う場合、最高の互換性を得るために以下の手順に従うことをお勧めします。

#### 1. 推奨オプション：配信ソフトでのキャンバス回転

- ・ 物理的な準備：三脚を使用してデバイスを縦向きに設置します。

- ソフトウェア設定：配信ソフト（OBS、StreamLabs など）で、ライブキャプス全体またはカメラソースを縦向き（通常はアスペクト比 9:16）に回転させます。

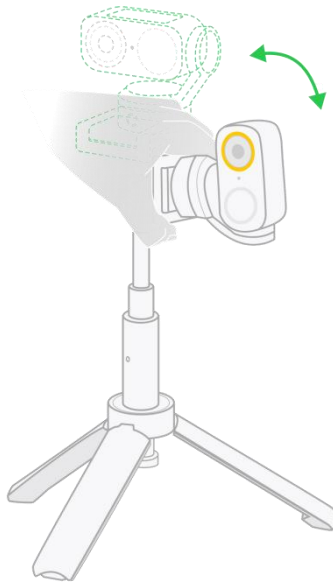


- クライアント設定：Mac ではクライアントプレビューを同時に有効にできません。Windows では、クライアントプレビューをオフにしてください。そうしないと、リソース使用の競合により、OBS がカメラの映像ストリームを正常に取得できない場合があります。

## 2. 代替オプション：クライアントでの解像度切り替え

この方法は主に、サードパーティ製ソフトウェア（ビデオ会議アプリなど）が縦型フレームを直接認識・プレビューする必要がある場合に使用されます。

- 物理的な準備：三脚を使用してデバイスを縦向きに設置します。



- クライアント設定：クライアント右上の設定ボタンをクリックし、「カメラ」>「互換性設定」に進み、「縦向き解像度」を有効にします。
- 有効にすると、カメラの出力ストリームはネイティブな縦向きフォーマットになります。他のソフトウェアでキャンバスを手動で回転させることなく、正しい縦向きプレビューが表示されます。

## 2 つのカメラ信号ソース

- **物理カメラ (Insta360 Link 2C/2 Pro)**：カメラハードウェアに直接アクセスし、基本的な映像、AI トラッキング、マイク機能を提供します。
- **仮想カメラ (Insta360 Virtual Camera)**：Insta360 Link Controller によって生成される高度な映像ストリームです。ビューティー&メイクアップ、バーチャル背景（クロマキー合成を含む）、フィルター、スマートホワイトボードなどの高度な機能をすべて使用するには、**このオプションを選択する必要があります**。これらのエフェクトを出力するには、会議やライブ配信プラットフォームの映像ソースとして「Insta360 Virtual Camera」を選択してください。

**ヒント：**macOS のバージョンが 15.0.1 以降の場合は、「システム設定」>「一般」>「ログイン項目と拡張機能」>「カメラ拡張機能」に進み、クライアントの権限を有効にしてから、クライアントを再起動して機能を有効にしてください。

## 配信ソフトでのカメラ構成

### 一般的な設定手順：

1. ライブ配信ソフト（OBS、StreamLabs など）を開きます。
2. 映像ソースを追加し、「カメラ」または「映像キャプチャデバイス」を選択します。
3. **選択のポイント：**
  - 基本的なトラッキングと映像のみが必要な場合は、「Insta360 Link 2C/2 Pro」（または該当モデル）を選択します。その後、配信キャンバス（横向き/縦向き）に基づいて適切な解像度を選択してください。

TikTok や Zoom などのプラットフォームでは、解像度を以下のように設定することをお勧めします（横向き / 縦向き）：1920x1080 または 3840x2160 / 1080x1920 または 2160x3840。

- ビューティーやバーチャル背景などの高度な機能を使用する場合は、「Insta360 Virtual Camera」を選択します。また、ビューティー機能を使用する際は、インターネットに接続されていることを確認し、解像度を 1080p に設定してください。

### 重要な注意：

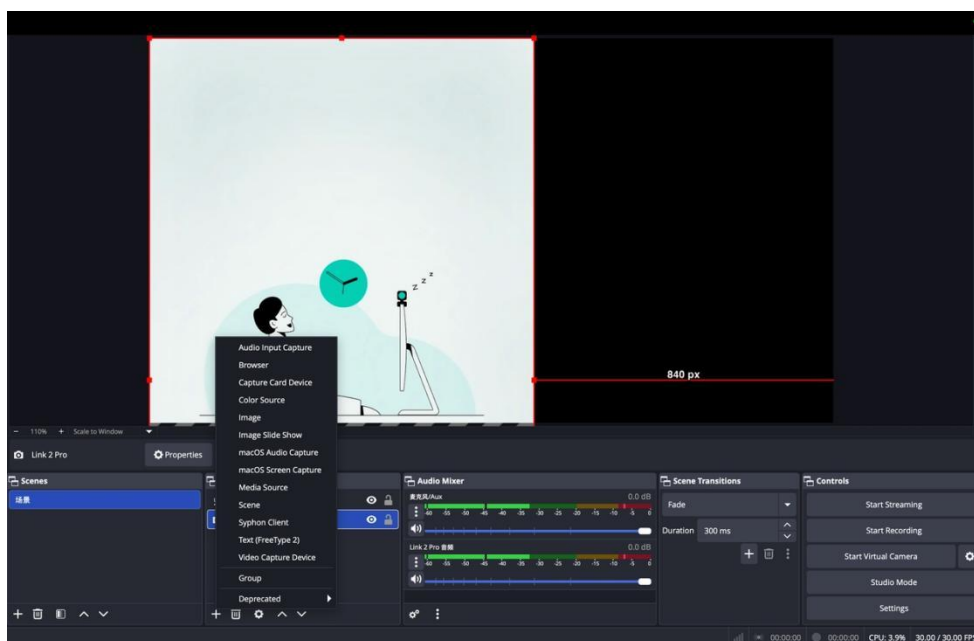
- ・ **ストリーム占有ルール（Windows）：**1 つの物理カメラからの映像ストリームは、複数のソフトウェアで同時にアクセスできません。配信ソフトを開く前に、カメラを使用している可能性のある他のアプリ（ビデオ会議アプリなど）を終了してください。
- ・ **クライアントの常駐：**「Insta360 Virtual Camera」を使用する場合、Insta360 Link Controller は常にバックグラウンドで実行されている必要があります。

## OBS Studio での使用方法

OBS は、高度なカスタマイズをサポートするプロフェッショナルなライブ配信・録画ソフトウェアです。

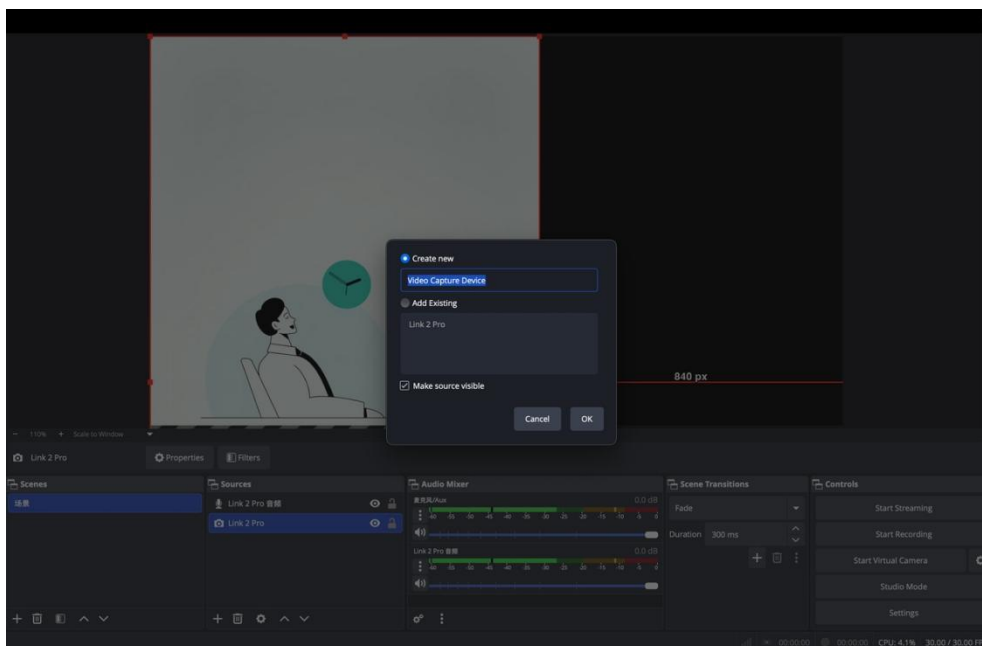
### 物理または仮想カメラの追加

1. OBS の「ソース」パネルで「+」をクリックし、「映像キャプチャデバイス」を選択します。

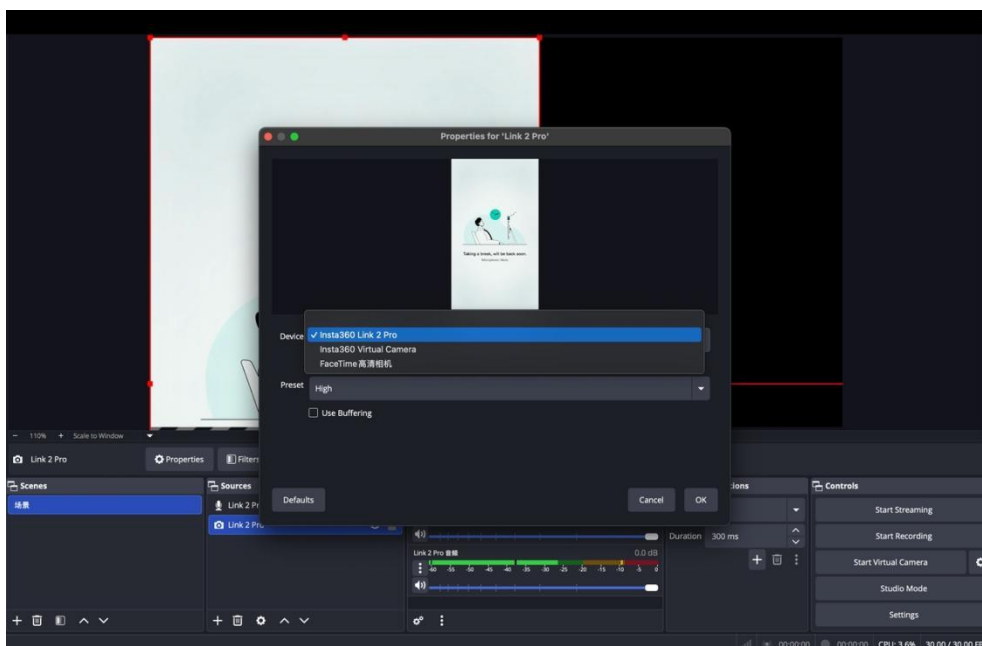


2. 設定ポップアップで「新規作成」にチェックを入れ、カメラ名を入力して「OK」をクリックします。次のポップアップの「デバイス」ドロップダウンメニューで、下にスクロールして対象の Link シリーズカメラを選択します。



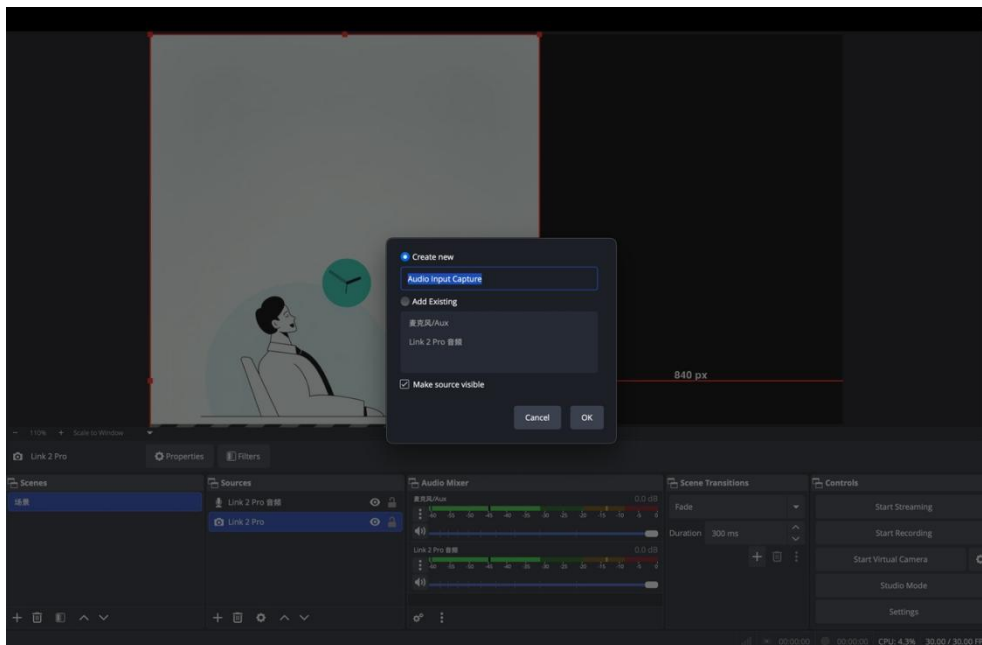


3. 新しいソースを作成するか既存のソースを選択する際、「デバイス」ドロップダウンメニューで以下のように選択します。
  - 基本機能を使用する場合は、デバイスモデル名が表示されたカメラを選択します。
  - 高度な機能を使用する場合は、「Insta360 Virtual Camera」を選択します（Link Controller で事前に仮想カメラ機能を有効にする必要があります）。

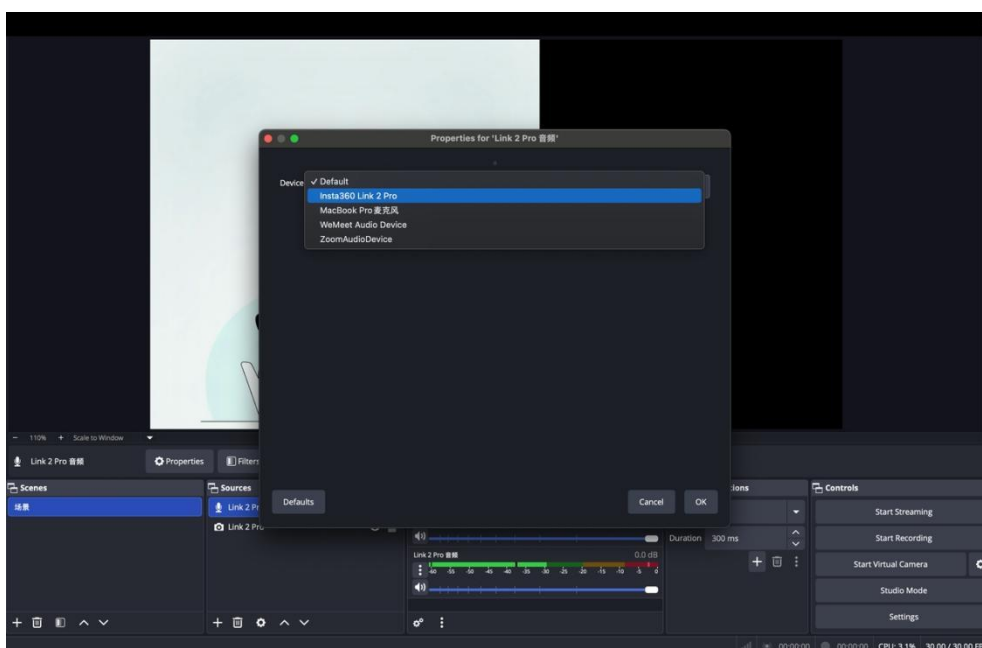


## カメラマイクを音声ソースとして追加

1. OBS の「ソース」パネルで「+」をクリックし、「音声入力キャプチャ」を選択します。



2. 「新規作成」にチェックを入れ、マイク名（例：「Link 2 Pro Audio」）を入力して「OK」をクリックします。「デバイス」リストで、対象の Link シリーズカメラのマイクを選択し、「OK」をクリックします。



## 注意事項

- 上記の手順を繰り返すことで、複数のカメラソースを追加できます。
- 同じデバイスの物理カメラと仮想カメラは、同時に映像を出力できません。一方が使用中の場合、もう一方は黒い画面になることがあります。

## 高度な活用 — クロマキー合成ライブ配信

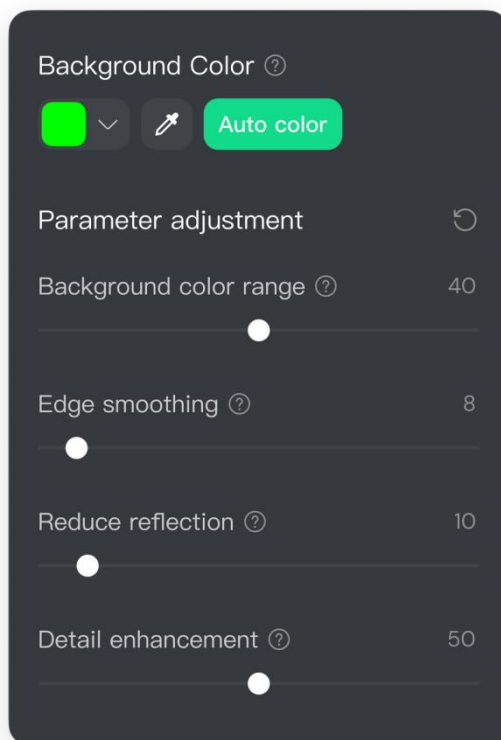
### 1. クライアントでのクロマキー合成設定：

- クライアントを開き、「エフェクト」タブに移動します。
- 「背景」設定で、バーチャル背景を選択するか、画像/動画をアップロードします。
- 「グリーンスクリーン利用可能」にチェックを入れると、システムは環境内の背景色を自動認識し、クロマキー合成パラメータを最適化して、素早く初期クロマキー効果を実現します。

結果に満足できない場合や環境が変化した場合は、以下を選択できます。

- 「自動カラー」をクリックしてワンクリックでクロマキー合成を行うか、スポイトツールを使用して映像フレーム内の色を手動でサンプリングしてクロマキー合成を行います。
- クロマキー合成されたエッジがきれいに抜け、被写体が自然に見えるまで、スライダーを使用して詳細を微調整します。
  - 背景色: クロマキー合成時の背景除去範囲を調整し、被写体をより完全に表示します。
  - エッジスムージング：被写体と背景の境界を最適化し、エッジをより自然に見せます。
  - 反射低減：被写体への背景光の影響を最小限に抑え、被写体の色をより鮮明にします。

- ディテール強調：髪の毛や衣服などの詳細を強調し、被写体をよりリアルで自然に見せます。



### 2. 配信ソフトでの信号ソース選択：

- 配信ソフトにカメラを追加する際、「Insta360 Virtual Camera」を選択します。

### 3. リアルタイム同期：

- AI トラッキングの切り替え、ビューティー&メイクアップの強度変更、画質パラメータ（明るさ、コントラストなど）の調整、バーチャル背景やフィルターの切り替えなど、クライアントで行った調整はすべて、リアルタイムで配信ソフトのプレビューに同期されます。

### ヒント：

- 「**自動カラー**」機能を使用すると、手動調整を減らして理想的なクロマキー合成結果を素早く得られます。
- 最良のクロマキー合成結果を得るには、緑または青のスクリーンを使用することをお勧めします。
- スクリーンが平らでシワがないこと、および照明ができるだけ均一であることを確認してください。
- 人物とグリーンスクリーンの間に距離（1メートル以上推奨）を保つことで、色破りを効果的に減らすことができます。

## よくある質問

**PC を再起動し、クライアントを開かずに配信ソフトを使用した場合、カメラは前回設定したオーディオ制御モードをデフォルトで維持しますか？**

非縦向きの 4K 高解像度モードでは、PC を再起動してクライアントが開いていなくても、カメラはデフォルトで最後に設定されたオーディオモードを維持します。

**カメラを使用せずにマイクだけを個別に使用できますか？**

はい、マイクは独立して使用できます。例えば、Teams 会議でカメラをオフにし、Link シリーズのマイクのみを使用することができます。

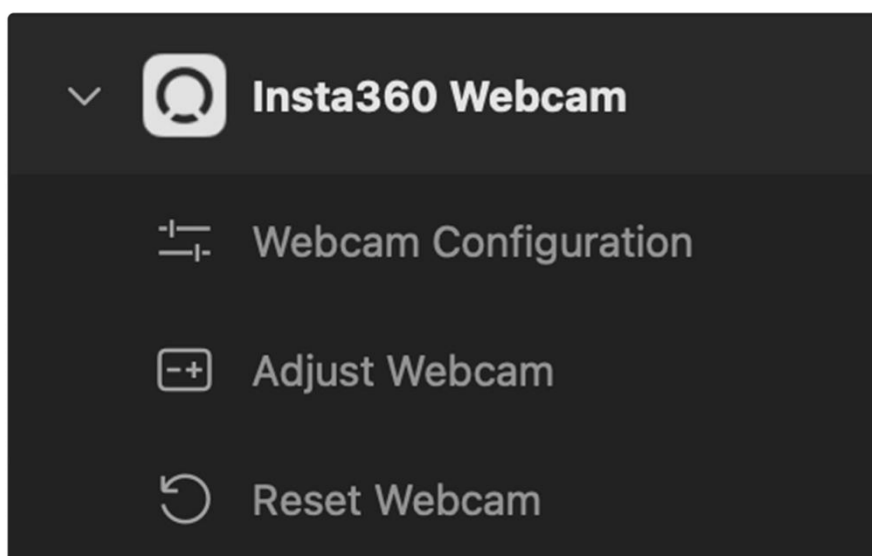
## エコシステム連携

### Elgato Stream Deck を使用した Link 2 シリーズカメラの制御

Stream Deck と統合することで、Link 2 シリーズカメラの頻繁に使用する機能を Stream Deck のキーに割り当て、クライアントのインターフェースを使用せずに素早い設定や制御が可能になります。

#### ソフトウェアのインストールと設定

1. カメラと Stream Deck の両方がパソコンに接続されていることを確認してください。
2. [Elgato Stream Deck ソフトウェアをダウンロード](#)して開きます。プラグインストアで「Insta360 Webcam」プラグインを検索してインストールします。検索に失敗した場合は、プラグインをダウンロードして手動でインストールすることもできます。
3. インストールが完了すると、ソフトウェアのサイドバーに「Insta360 Webcam」オプションが表示され、以下の 3 つのカテゴリの制御機能が利用可能になります。
  - ウェブカメラ設定
  - ウェブカメラ調整
  - ウェブカメラリセット

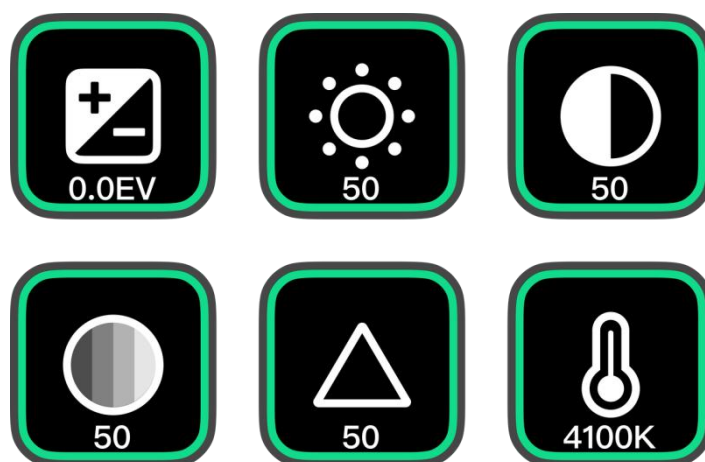


## 操作ガイド

### 1. ウェブカメラ設定

この機能は、ワンクリックでカメラパラメータを事前に定義された固定値に設定したり、特定の機能のトグルとして動作させたりするために使用します。

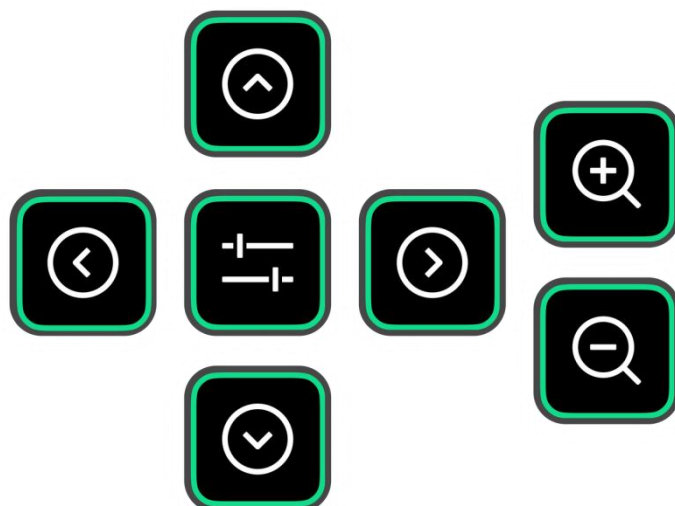
- **パラメータプリセットの例：**「Webcam Configuration」をキーにドラッグ＆ドロップし、ボタンのタイトルを入力し、カメラを選択して、「色温度」機能を選択し、値を「10000」に設定します。キーを押すと、現在の設定に関係なく、色温度は即座に 10000K に調整されます。明るさや彩度などの他の調整可能なパラメータにも同様に適用されます。
- **機能トグルの例：**キー機能を「AI トラッキング オン/オフ」に設定します。このキーを押すと、AI トラッキング機能が有効または無効になります。もう一度押すと状態が切り替わります。



### 2. ウェブカメラ調整

この機能は、設定された量ずつカメラを段階的に調整するために使用します。

- **操作例：**2 つの「Adjust Webcam」機能を別々の 2 つのキーにドラッグ＆ドロップします。
- キー 1：機能に「ズーム」を選択し、増減値を「+0.1」に設定します（ズームイン）。
- キー 2：機能に「ズーム」を選択し、増減値を「-0.1」に設定します（ズームアウト）。
- これらの 2 つのキーを繰り返し押すことで、画角を徐々にズームインまたはズームアウトできます。



### 3. ウェブカメラリセット

この機能は、カメラの設定の 1 つまたはすべてを初期状態に戻すために使用します。

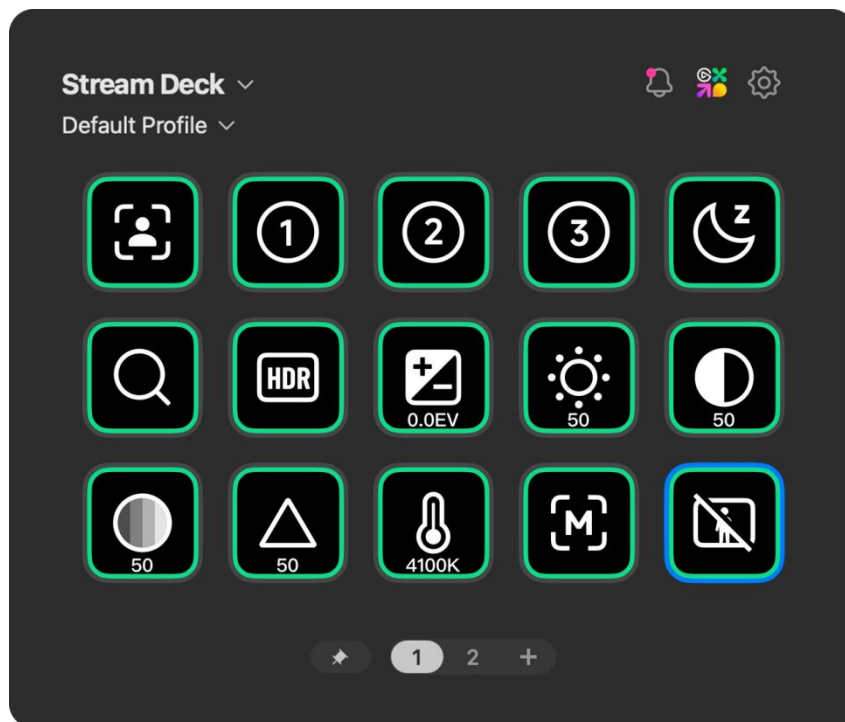
- **単一リセットの例：**キー機能を「明るさ」に設定します。明るさの調整に満足できない場合、このキーを押すと、明るさの値が標準の初期値に戻ります。
- **全リセット：**キー機能を「全パラメータ」に設定します。このキーを押すと、カメラのすべての画質および機能設定が工場出荷時の状態に戻ります。

**ヒント：** macOS を使用している場合、システム設定を開き、キーをトリガーするために Stream Deck に権限を付与する必要があります。

## コントロールパネルレイアウトのカスタマイズ

ユーザーはパネルレイアウトをカスタマイズできます。プリセットボタンを部分的に変更するか、下のページ番号をクリックして新しいページを設定できます。以下は Stream Deck コントロールパネルの推奨レイアウトですが、個人の習慣に合わせてカスタマイズ可能です。





- **中央エリア（方向制御）**：5 つの「Adjust Webcam」キーを配置し、機能を「ジンバル 上・下・左・右」および「ジンバルリセット」に設定します。
- **左右（ズーム制御）**：2 つの「Adjust Webcam」キーを配置し、「ズーム」機能を選択して、増減値を「+0.1」と「-0.1」に設定します。
- **その他のキー**：「Webcam Configuration」キーを配置して、以下のような頻繁に使用する機能を素早く切り替えることができます。
  - AI トラッキング オン／オフ
  - デスクビューモード オン／オフ
  - 露出（明るさ）を特定の値に調整
- **プリセットキー**：「Webcam Configuration」キーを配置し、「プリセット」機能を選択して、サブオプション（例：プリセット 1、プリセット 2）を指定します。
  - **プリセットの保存**：まず、クライアントですべてのパラメータ（ビューティー、フィルター、画質設定など）を調整します。Stream Deck で、対応するプリセットキーをクリックして、現在のすべての設定を保存します。
  - **プリセットの呼び出し**：必要なときにキーを押すと、ワンクリックで保存された設定に切り替わります。
  - **プリセットの更新**：クライアントでパラメータを変更した後、Stream Deck に戻り、対応するプリセットキーを 3 秒間長押しして、新しい設定を更新して保存します。

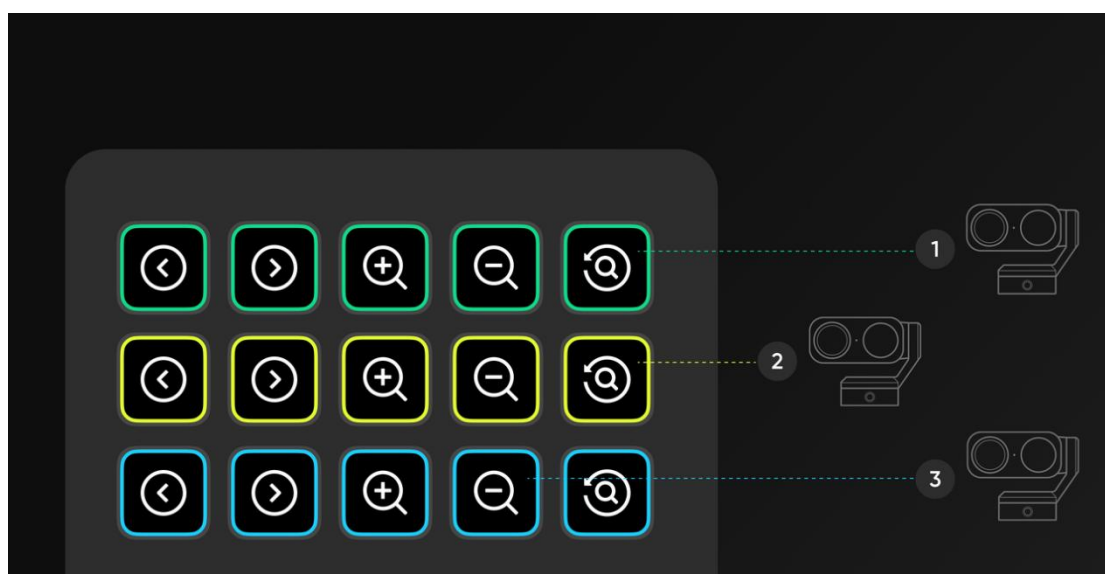
- 例：
  - **プリセット 1**：一般的なライブ配信設定（ビューティー、メイクアップ、自動トラッキングを有効化）。
  - **プリセット 2**：グリーンスクリーンライブ配信設定（ワンクリックロマキー合成およびバーチャル背景置換）。
- ・ **ナビゲーションキー**：パネルの隅に Stream Deck のデフォルトの「前のページ」および「次のページ」ナビゲーションキーを配置して、異なるコントロールページを切り替えることができます。

## 注意事項

Stream Deck 経由でビューティー、メイクアップ、バーチャル背景、フィルター、および特定の画質パラメータを含む機能呼び出す場合は、設定を有効にするためにクライアントがバックグラウンドで実行されていることを確認してください。

## マルチカメラ・リアルタイム制御

Stream Deck をリアルタイムコントロールコンソールとして使用し、設定メニューを開くことなく、カメラアングルや各種設定を調整できます。



## ヒント 1：プリセットワークフロー

複数のカメラに対してワンタップ切り替えを設定し、時間を節約して使いやすくします。

プリセットボタンの動作ロジック：

- 初回クリック（ボタンにプリセットがない場合）：保存可能なすべてのカメラ設定の現在の状態を、新しいプリセットとして保存します。
- 2 回目以降のクリック（ボタンにプリセットがある場合）：ワンクリックで、保存されたプリセットの状態に素早く切り替えます。
- 3 秒間長押し（ボタンにプリセットがある場合）：カメラの現在の新しい状態で、既存のプリセットを上書きします。

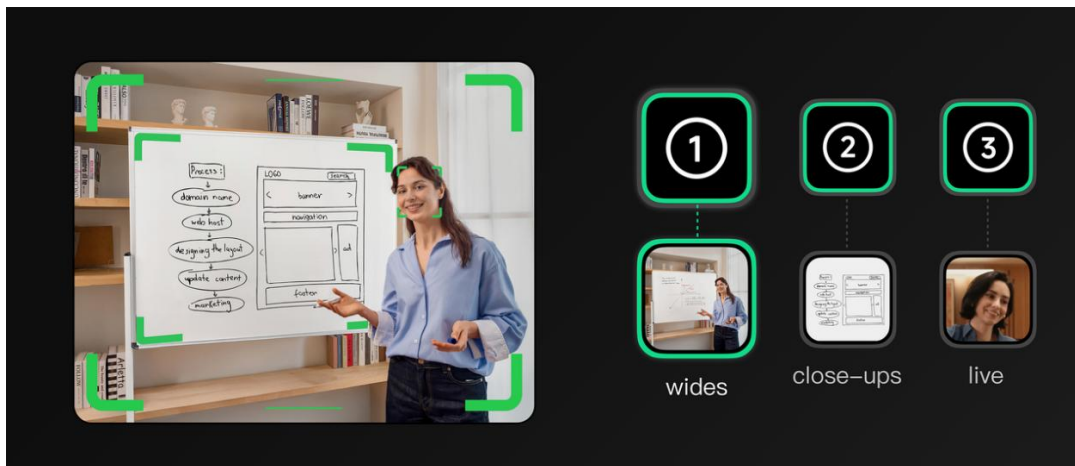
### ヒント：

1. 機能権限：Stream Deck 経由で保存および呼び出されるプリセット内容の範囲は、現在の動作環境によって異なります。
  - ハードウェアのみ（Link Controller クライアントが実行されていない場合）：ジンバル位置、デジタルズーム、AI モード（AI トラッキング/オートフレーミング、ホワイトボードモード、デスクビューモードを含む）など、カメラハードウェアに直接関連するパラメータのみをプリセットおよび呼び出しできます。
  - 全機能（Link Controller クライアントがバックグラウンドで実行されている場合）：上記のハードウェアパラメータや AI モードに加え、エフェクト設定（バーチャル背景、フィルター、メイクアップ、ビューティーなど）や画質設定を含むすべてのソフトウェアパラメータをプリセットおよび呼び出しできます。
2. 操作間隔：Stream Deck を使用して異なるプリセットを切り替える場合は、操作の間に少なくとも 3 秒の間隔を空けることをお勧めします。連続して素早くクリックしすぎると、デバイスの応答遅延により一部のコマンドが失敗する可能性があります。

操作ワークフロー：

- ショットの設定：Insta360 ソフトウェアまたは Stream Deck で、カメラ A を顔に向けます。露出を調整して、顔が明るく映るようにします。
- Stream Deck への保存：
  1. Insta360 リストから「Webcam Configuration」アクションをキーにドラッグします。

2. Stream Deck ソフトウェアで「プリセット」を選択します。
  3. カメラ A を選択します。
  4. キーに「カメラ A：クローズアップ」と名前を付けます。
- 広角ショットの作成：次に、新しいプリセットを作成し、カメラをより広い画角に調整します。プリセットキーを 3 秒間長押しして保存し、「カメラ B：ワイド」と名前を付けます。
  - 繰り返し：カメラ C をプレゼンテーション用ホワイトボードに向け、上記の手順を繰り返してプリセットを保存できます。
  - 結果：独立した録画の品質に影響を与えることなく、ボタンを 1 回押すだけで、ゲストのワイドショットとクローズアップを即座に切り替えることができます。



## ヒント 2：録画中のリアルタイム手動調整

クライアントソフトウェアを開くことなく、録画中にゲストのフレーミングや画質設定を調整できます。

- **ジンバル調整**：「Adjust Webcam」アクションを Stream Deck にドラッグし、ジンバルの動きを選択します。これにより、Stream Deck 上に「ジョイスティック」（上／下／左／右／ズーム）が作成されます。ゲストがフレーム外に移動した場合、カメラジンバルを物理的に動かして追従させることができます。
- **画質設定**：「Webcam Configuration」アクションをキーにドラッグします。
  - 露出またはホワイトバランスを制御するように設定します。
  - 録画中にカメラの映像が暗すぎると感じた場合、このキーをタップすると、ハードウェアの生映像を即座に明るくすることができます。

## 高度な活用 — マルチカメラ・ライブ配信

プロのポッドキャスト、インタビュー、またはマルチカメラ制作のシナリオでは、ポストプロダクション段階で各カメラアングルを個別に調整できるように、各ウェブカメラの映像を個別のビデオファイルとして録画（「アイソレーテッドレコーディング」または「ISO 録画」と呼ばれます）する必要がある場合があります。以下に、OBS Studio でこれを実現する 2 つの方法を紹介します。以下の特定のワークフローに従う必要があります。このワークフローは、最大 3 台のカメラの同時録画をサポートしています。

### 録画前のチェックリスト：

- GPU 性能：マルチチャンネルビデオエンコーディングを処理するために、コンピューターに専用グラフィックスカード（NVIDIA RTX シリーズなど）が搭載されていることを確認してください。
- オーディオテスト：本番録画を開始する前に、各マイクが独立したオーディオトラックに正確に録音されているかを必ずテストしてください。
- ディスク容量：ISO 録画は大量の容量を消費します。通常の録画に必要なストレージ容量の 3~4 倍を確保してください。

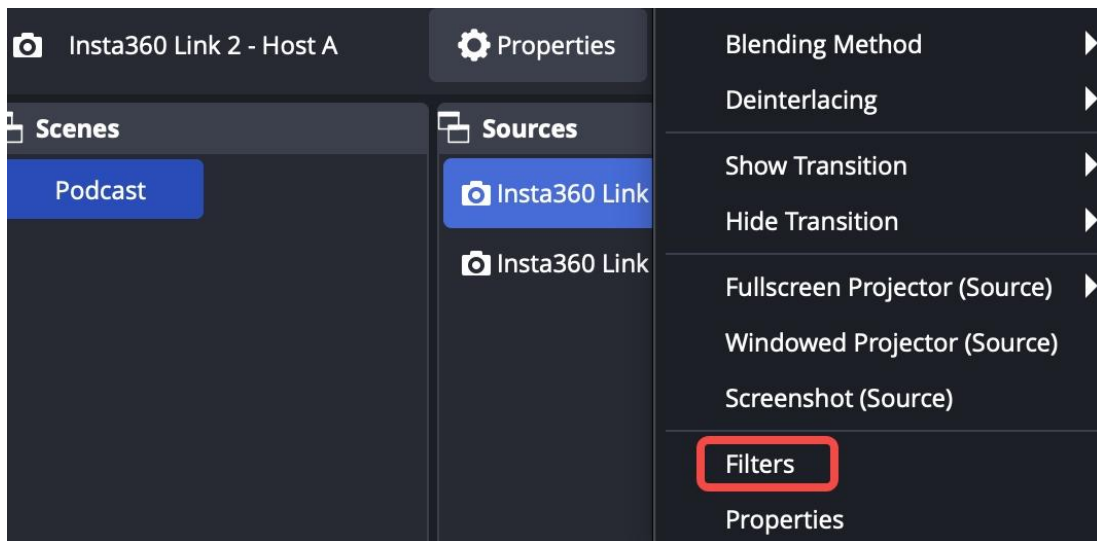
プロのポッドキャスト、インタビュー、またはマルチカメラ制作のシナリオでは、ポストプロダクション中に個別に調整できるように、各 Insta360 Link カメラの映像を個別のビデオファイル（ISO 録画）に記録する必要がある場合があります。次のセクションでは、OBS Studio でこれを実現する 2 つの方法を紹介します。

### 方法 1：「Source Record」プラグインを使用（推奨）

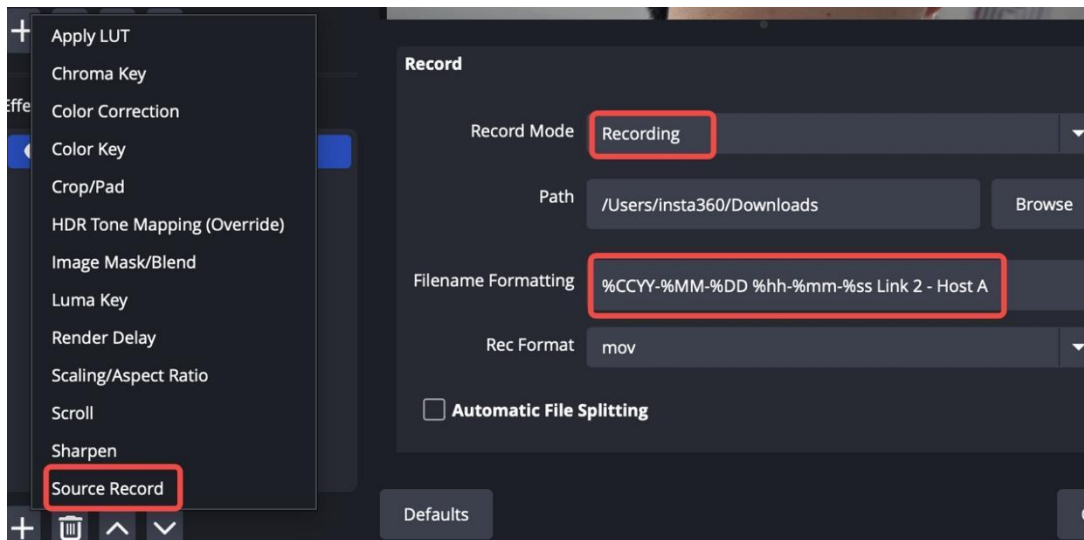
この方法は、無料のプラグインを使用して、各カメラの独立したビデオファイルを作成します。

1. プラグインのインストール：OBS 公式リソースフォーラムから「[Source Record](#)」プラグインをダウンロードします。インストール後、OBS を再起動してください。
2. フィルタの追加：

- ・ シーンにカメラソースを追加します。
- ・ 「ソース」リストで、カメラ A を右クリックし> 「フィルタ」を選択します。



- ・ 「エフェクトフィルタ」の下にある「+」アイコンをクリックし、Source Record プラグインを選択します。

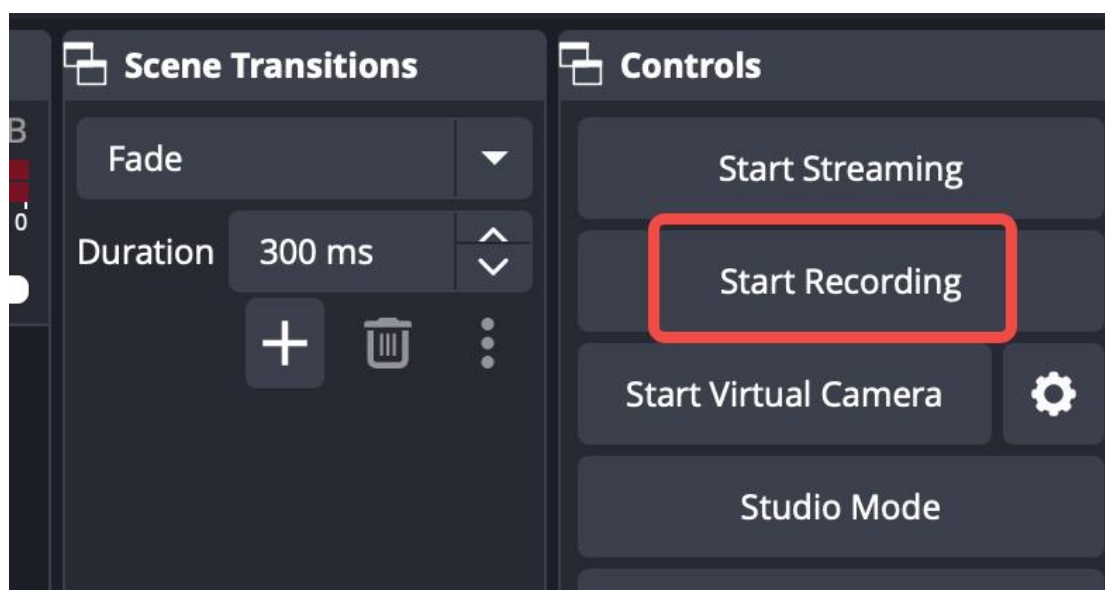


### 3. エンコード設定：

- ・ 名前：この録画ソースに名前を付けます（例：「ホストビュー」）。
- ・ 録画モード：メインの OBS 録画ボタンがクリックされたときに同時に開始されるように、「Recording」に設定します。
- ・ エンコーダー：コンピューターへの負荷を軽減するために、必ずハードウェアエンコーダーを選択してください。
  - Windows：NVENC（NVIDIA グラフィックスカード）またはハードウェア

エンコーディング（AMD グラフィックスカード）を選択します。

- macOS: Apple VT H264 Hardware Encoder を選択します。
  - パフォーマンス不足につながる可能性があるため、すべてのカメラで x264 ソフトウェアエンコーディングを使用することは避けてください。
4. 設定の繰り返し：シーン内の他の Link カメラに対しても、上記の手順を繰り返します。
  5. 録画開始：OBS で「録画開始」をクリックすると、メインの出力ファイルに加えて、各カメラの独立したロスレスビデオファイルが生成されます。



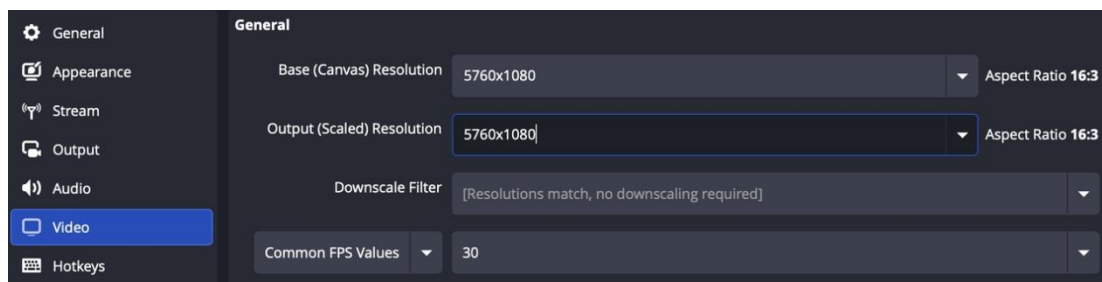
今天		创建日期
	2025-12-06 17-08-36 Link 2 -Host C.mov	今天 17:08
	2025-12-06 17-08-36 Combined View.mov	今天 17:08
	2025-12-06 17-08-36 Link 2 - Host A.mov	今天 17:08
	2025-12-06 17-08-36 Link 2 -Host B.mov	今天 17:08

**ヒント：**この方法では 4 つのビデオを同時にエンコードする必要があり、高いコンピュータ性能が要求されます。コンピュータのリソースが限られている場合や、音声と映像の同期を確実にしたい場合は、方法 2 を検討してください。



## 方法 2：「ウルトラワイド」キャンバス

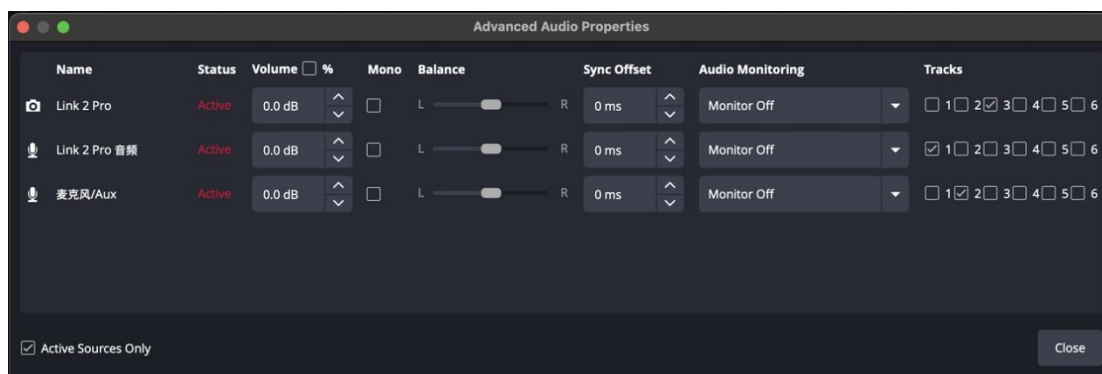
1. キャンバスサイズの変更：OBS クライアントの右下にある「設定」>「映像」タブに移動します。
  - 「基本（キャンバス）解像度」を 5760x1080（つまり、3 つの 1920x1080 フレームを横に並べたサイズ）に設定します。
  - 「出力（スケーリング）解像度」を 5760x1080 に設定します。



2. カメラの配置：シーン内で、3 つのカメラソースを左から右へ横に並べて配置します。
3. ポストプロダクション編集：生成されたウルトラワイドビデオファイルを編集ソフトウェア（Adobe Premiere Pro、DaVinci Resolve など）にインポートします。ビデオトラックを複製し、クロップツールを使用して各カメラアングルを切り出します。
4. オーディオ分離設定

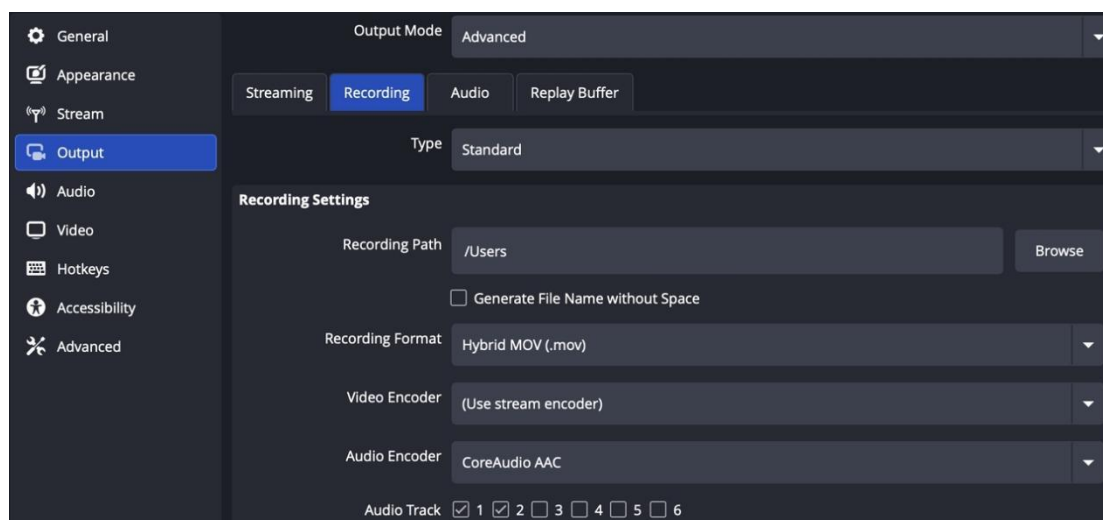
ポッドキャストでは、独立したオーディオトラックは映像と同じくらい重要です。OBS で以下の設定を行ってください。

- 上部メニューバーの「編集」>「オーディオの詳細プロパティ」に移動します。
- 「トラック」エリアで、各マイクに専用のトラックを割り当てます（例：マイク A にはトラック 1 のみチェック、マイク B にはトラック 2 のみチェック）。





- 「設定」>「出力」に移動し、「出力モード」を「詳細」に設定します。「録画」タブの下で、録音したい独立したオーディオトラック（例：トラック 1、トラック 2）にチェックを入れます。録画後、編集用にトラックが分かれたオーディオファイルが得られます。



## Wave との統合

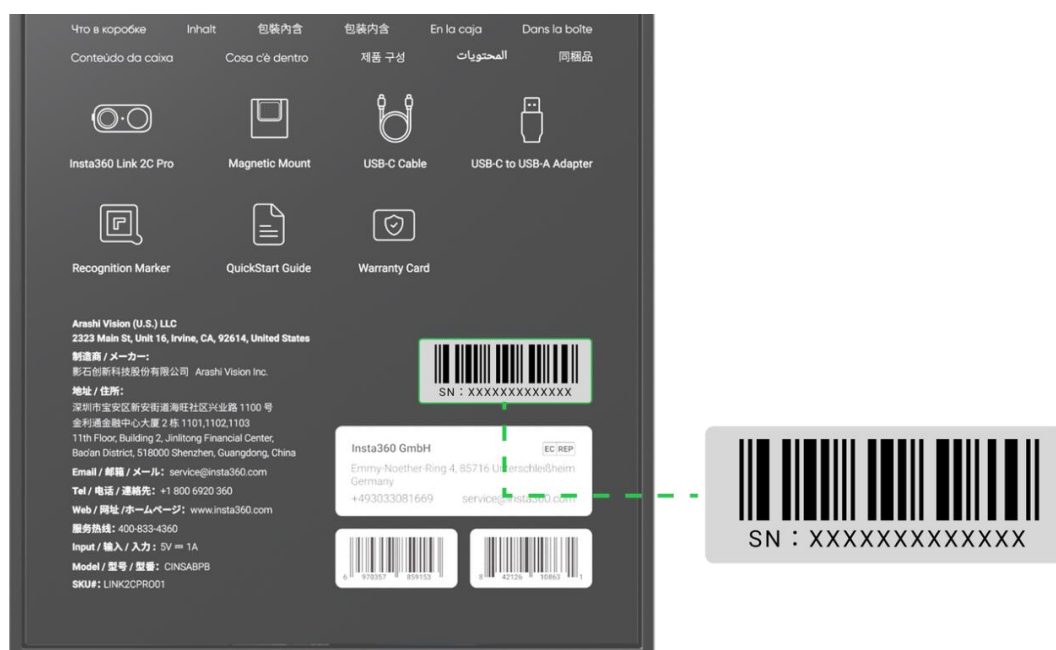
Link 2 Pro 本体を磁気マウントから取り外し、Insta360 Wave マイクの上部に磁気吸着させます。このセットアップは、音声集音品質に特定の要件がある会議やデモンストレーションのシナリオに最適です。詳細な手順については、[こちらを参照してください](#)。

# メンテナンスと管理

## シリアルナンバー (SN) の確認

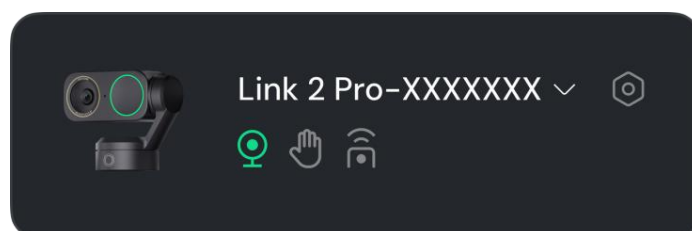
### 方法 1：製品パッケージで確認

パッケージの箱の裏面を確認してください。対応するシリアルナンバーラベルが貼られています。

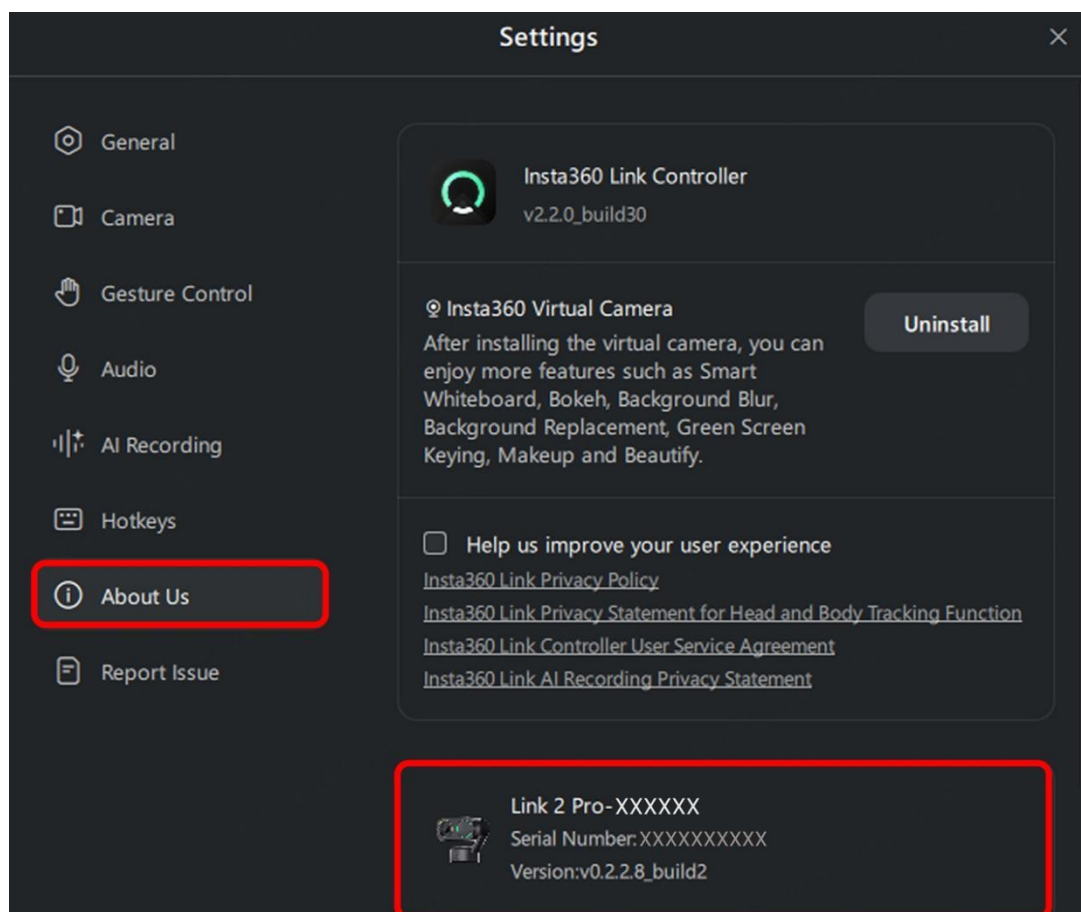


### 方法 2: クライアント経由で確認

1. カメラが Insta360 Link Controller クライアントに接続されていることを確認してください。
2. 接続されたデバイスのシリアルナンバーは、クライアントの右上に表示されます。



または、クライアントウィンドウ右上のコントロールバーにある「...」アイコンをクリックし、「詳細設定」>「Insta360 について」に進んでシリアルナンバーを確認することもできます。

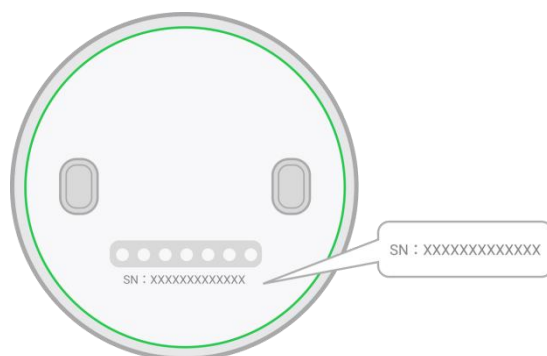


### 方法 3: カメラ本体で確認

Link 2C Pro：シリアルナンバーは USB-C ポートの下にあります。



Link 2 Pro：シリアルナンバーはジンバルベースの底面にあります。



## ログのアップロード

使用中に発生した問題を素早く特定し解決するために、便利なログアップロード機能を提供しています。以下のいずれかの方法を使用して、デバイス、仮想カメラ、または Link Controller クライアントからログファイルをアップロードできます。

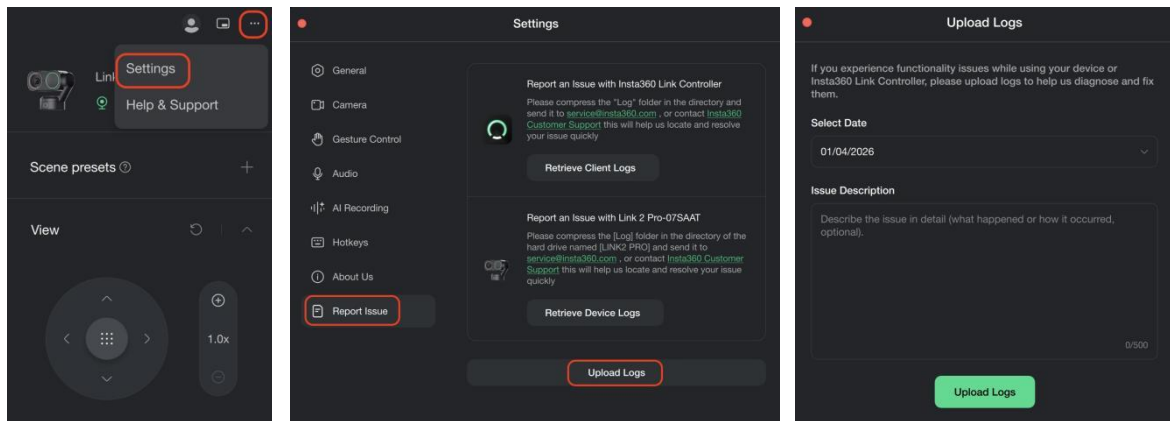
### 方法 1：クライアントから直接アップロード

この方法では、カメラがクライアントに適切に接続されているときに、関連するすべてのログを一度にアップロードできます。

1. Link Controller クライアントを開き、右上の「詳細設定」（…アイコン）をクリックします。
2. 「問題を報告」を選択します。
3. 「ログをアップロード」をクリックします。
4. ポップアップウィンドウで、問題が発生した日付を選択し、発生した問題を簡単に説明してください。
5. 「ログをアップロード」をクリックし、アップロードが完了するのを待ちます。

- アップロードが成功したら、「Log ID をコピー」をクリックし、この Log ID を Insta360 サポートチームに提供してください。

**ヒント：**カメラとクライアントが適切に接続されている場合、この方法でデバイスログ、仮想カメラログ、および Link Controller クライアントログをすべて一度にアップロードできます。ログアップロードプロセス中、カメラは USB ドライブモードに入ります。アップロードの進行が完了し、成功メッセージが表示されるまで待ってから、USB ケーブルを手動で抜き差ししてカメラを再起動してください。ログ破損やアップロード失敗の原因となる可能性があるため、アップロードが完了する前に接続を切断しないでください。



## 方法 2：手動でログファイルを取得してエクスポート

ログファイルを手動で確認または提出する必要がある場合は、この方法を使用してください。

- Link Controller クライアントを開き、右上の「詳細設定」をクリックします。
- 「問題を報告」を選択します。
- 「クライアントログを取得」をクリックします。システムは自動的にコンピューター上にログファイルパッケージを生成します。
- このファイルパッケージを直接サポートチームに提供できます。
  - このステップでエクスポートされるログには、Link Controller クライアントログと仮想カメラログが含まれます。
  - デバイス自体のログを個別にエクスポートするには、「問題を報告」ページで接続されているデバイス名を見つけ、その下にある「デバイスログを取得」ボタンをクリックします。

## ファームウェアの更新

### クライアント経由の更新

クライアントソフトウェアをダウンロードしてインストールし、公式データケーブルを使用してデバイスをコンピューターに接続します。

クライアントを開き、「詳細設定」>「Insta360 について」に進み、現在のバージョンを確認します。新しいバージョンが検出されたら、「今すぐ更新」をクリックして最新のファームウェアをダウンロードし、指示に従ってインストールを完了します。

### U-Disk モード経由の更新

1. デバイスをコンピューターに接続します。タッチボタンを 3 回タップし、インジケータランプが点滅するのを待ってから、5 秒間長押しします。インジケータランプが青色に点灯したら、カメラは U-Disk モードに入っています。Insta360 公式サイトのダウンロードページにアクセスし、該当する製品ページから最新のファームウェアバージョンをダウンロードします。
2. ダウンロード後、フォルダを開き、デバイス名の付いた U-Disk にファイルをコピーします。

ファームウェアの更新が成功すると、インジケータランプが緑色に点灯します。

#### ヒント：

- ・ ファームウェア更新中は USB ケーブルを抜かないでください。
- ・ ファームウェア更新中はデバイスを操作しないでください。

## 保管とメンテナンス

- ・ 本製品は磁石を内蔵します。本製品には磁石が含まれています。磁気干渉を避けるため、ペースメーカーなど、干渉を受けやすい機器には近づけないでください。
- ・ 本製品に手動で無理な力を加えたり、叩いたり、ぶつけたりしないでください。
- ・ 本製品を水に浸さないでください。
- ・ 清掃には乾いた布を使用してください。可燃性の液体クリーナーは使用しない

でください。

- 極端な高温・低温、高湿度、多量のほこりや汚れがある環境、または湿気にさらされる場所で本製品を使用しないでください。

## 仕様

仕様については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.insta360.com/specs/link2pro>

Arashi Vision Inc.

住所：中国広東省深セン市宝安区金利通金融中心 2 号ビル 11 階

WEB： [www.insta360.com](http://www.insta360.com)

TEL：400-833-4360 +1 800 6920 360

EMAIL： [service@insta360.com](mailto:service@insta360.com)

V1.1